

さいたま市の食育取組状況

令和3年度

(2021年4月～2022年3月)

さいたま市

<はじめに>

さいたま市では、市民が食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むことを目指して、「第3次さいたま市食育推進計画」に基づき食育を推進しています。令和3年度は、「まごころに感謝して」食べるを重点目標とし、市民・民間団体・事業者・関係機関・行政等が、連携の強化を図りながら、食育を推進しました。

本冊子は、さいたま市における食育の取組の進行状況の確認、評価を行い、効果的な食育の推進を検討するため、令和3年度の「さいたま市健康づくり・食育推進協議会」及び「さいたま市食育推進担当者会議」において取りまとめた資料をもとに作成しました。市民一人ひとりが、生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていけるよう、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

<冊子の見方>

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”(裏表紙うら参照)の各項目について、講話・実習・体験・啓発等を行った場合は○

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”で○をつけた項目について、市民がどう変化したか等、取り組んだ成果を記載

写真や資料を掲載

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など		
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ						実績	○年度	成果	課題			
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年 期 16-24歳	成 人 期 25-39歳	壮 年 期 40-64歳	高 齢 期 65歳	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容					
協働	(新規)	朝食	食生活 バランス	共食	食の安全・食中毒 行儀作法	食料表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理											

関係団体、地域・市民、行政等が、対等な立場で連携を図りながら協力して取り組んだ場合は○

対象としたライフステージに○

実施した内容を記載

改善すべき点、検討が必要な点等について記載(終了となる事業については、その理由を記載)

<目次> ※新型コロナウイルス感染症、その他の理由により、全日程が中止になった事業・取組は掲載していません。

1 食育関係団体(さいたま市健康づくり・食育推進協議会委員)の食育取組状況	1
2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況	5
公民館の食育取組状況	19
3 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況	28

1 食育関係団体（さいたま市健康づくり・食育推進協議会委員）の食育取組状況

- ・ 人間総合科学大学
- ・ さいたま市私立保育園協会
- ・ 埼玉県栄養士会
- ・ さいたま商工会議所
- ・ さいたま市食生活改善推進員協議会

【人間総合科学大学】

事業名	重点目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
高校生の食事	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
高校生に自分の食生活を見直してもらい、1日3食規則正しい食事の重要性を理解することを目標とした。													
食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
三食しっかり			いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物							
(重点食)	食生活	バランス	(重点食)	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点)	
○	○	○										○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
高校生	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
埼玉県立高等学校(講義と並行して食生活調査を実施し、結果をフィードバックしている)													
取組の内容													
高校の「栄養」の授業内で講義を実施した。家庭科の教科書の記載内容に連動しながら新しい情報を取り入れ、1日3回規則正しい食事の重要性を強調した。													
新型コロナウイルス感染症の影響													
なし													
取組の成果													
過去に対象高校の食生活調査をしており、その結果を紹介することで、より一層興味をもって聞いてもらえた。													


【さいたま市私立保育園協会】

事業名	重点目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
①「卵・乳・小麦を使用しない献立」についてのオンライン調理講習会 ②感染予防のための正しい手洗いの仕方についての実践研修会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
①アレルギーフリーの献立3品の調理講習会を開催することで、食物アレルギー対応について再認識することができる。 ②「手洗いチェッカー」を用いた正しい手洗いの仕方について再確認することができる。													
食育推進計画の目標・重点プロジェクト													
三食しっかり			いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物							
(重点食)	食生活	バランス	(重点食)	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重点)	
		○	○									○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
さいたま市私立認可保育所職員(管理栄養士・栄養士 他)	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
さいたま市保育課													
取組の内容													
・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、対面での開催を控え、初めてオンラインでの調理講習会を実施する。 ・卵、乳、小麦を使用しない3品の献立を実践を交えて紹介する。 ・手洗いチェッカーを用いて洗い残しを確認する。													
新型コロナウイルス感染症の影響													
・通年は対面での調理講習会を開催しているが、今回は初めてオンラインでの調理講習会となった。													
取組の成果													
・食物アレルギー児のお子さんも、皆と一緒に楽しく同じメニューを食べることができる機会を設けることができた。 ・手洗いチェッカーを用いて、洗い残しのない正しい手洗いの仕方を学ぶことができた。(爪ブラシの重要性を再確認することができた。)													

【埼玉県栄養士会】

事業名	重点目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上									
さいたま市健口教室		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進									
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	分野別の目標									
高齢期の栄養・口腔機能について知り、フレイル(虚弱)予防などについて学ぶ											
食育推進計画の目標・重点プロジェクト											
三食しっかり			いっしょに楽しく			確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物	
(重点)朝食	食生活	バランス	(重点)共食	行儀作法	食の安全、食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理、食文化
○	○	○									○
事業の対象者	単年度事業・継続事業										
さいたま市民	継続事業										
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
さいたま市、埼玉県歯科衛生士会											
取組の内容											
さいたま市、歯科衛生士会と連携し、1クール3回で実施。											
介護予防のための食事・栄養についての講習											
											
新型コロナウイルス感染症の影響											
6月からの1クール目は中止 10月～12月で定員を制限して実施											
取組の成果											
市内10区で開催 316人の参加 食事の振り返りをして、健康寿命を延ばしていこうと意識してもらえるようになった。											

【さいたま商工会議所】

事業名	重点目標	1 がんの予防と早期発見の推進									
(1)生活習慣改善・定着プロジェクト (2)会員事業所向け健康診断等の実施 (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標									
事業の目標											
(1)①減塩・適塩の重要性を周知する、②医療現場のニーズを汲んだ製品開発～販売を行う (2)会員事業所従業員等の健康増進に寄与する (3)働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりへの貢献を目指す		食育推進計画の目標・重点プロジェクト									
三食しっかり			いっしょに楽しく			確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物	
(重点)朝食	食生活	バランス	(重点)共食	行儀作法	食の安全、食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理、食文化
○	○	○									○
事業の対象者	単年度事業・継続事業										
市民、会員事業所および従業員	継続事業										
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
(1)さいたま市保健福祉局、(一社)適塩・血圧対策推進協会、協定締結先の大学、会員事業所等 (2)浦和医師会、大宮シテイクリニック、レインボークリニック、川口総合病院 (3)大阪商工会議所											
取組の内容											
(1)生活習慣改善・定着プロジェクト											
①「ナト・カリ調味料」を使用した共同商品開発											
・会員事業所2店舗と人間総合科学大学の共同により、ナト・カリ調味料を使用した商品等を開発、期間限定で販売した。普及のため、3月の2日間、まるまるひがしにほんでの販売も行った											
・今夏から4店舗が同大学と共同商品開発を行っている。今冬の販売を目指している											
・「1日8,000歩、塩分摂取8g」を普及啓発する筆記具を配布している(写真右)											
②その他											
・市内ものづくり企業と大学の医療系学部との製品開発支援を行っている											
											
(2)会員事業所向け健康診断等の実施											
①一般定期健康診断、生活習慣病検診、人間ドック、PET検診を当会議所指定機関で受診できる											
②労働安全衛生法に対応したストレスチェック実施を当会議所がサポートしている											
(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施											
①毎年度、3月と11月に試験を実施している。あわせて試験に向けた対策講座を実施している											
新型コロナウイルス感染症の影響											
・各種事業の打合せについて、必要に応じオンライン化へ移行している											
・集合型の事業について、従来より大きめの会場確保や定員縮小を行っている											
取組の成果											
(1)生活習慣改善・定着プロジェクト											
①商品開発について、日経新聞(3/17)に記事として取り上げられた											
②製品開発について、上市した案件が出ている											
(2)会員向け健康診断等の実施 (①の数値は2年度事業のもの、カッコ内は元年度との比較)											
①健康診断は267事業所(▲21事業所)、1,528名(▲21名)が受診した											
②ストレスチェックは年度目標約100名を上回る申込がある											
(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施(カッコ内は元年度との比較)											
①3月の申込者数は1,381名(感染症で中止)、11月は1,597名(+183名)であった											

【さいたま市食生活改善推進協議会】

事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進 4 1日3食バランスのとれた食生活の推進														
1. 10区合同研修会 2. リーダー研修会 3. グループ伝達講習会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標														
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり															
地域における食育推進の担い手として、健全な食生活を実践伝達を実施する食育活動を進めて行く。		食育推進計画の目標・重点プロジェクト														
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物										
		(朝食)	食生活	バランス	(共食)	行儀作法	食中毒	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	行事食	(協働)	
		○	○	○			○					○	○	○	○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業															
会員	継続事業															
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体																
さいたま市保健所地域保健支援課、さいたま市10区区役所保健センター、さいたま市10区内公民館、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課																
取組の内容																
<p>昨年同様、講義とレシピ説明、コロナ禍事業中止も数回ありました。</p> <p>地域住民に対して生涯を通じた食育推進し健康づくりの発信者として健全な食生活を実践できるよう、バランスガイドの普及と啓発、地産地消、郷土料理や行事食、生活習慣病予防の食事等研修、また、SDGs啓蒙の中、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課職員の食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢の講義を受講しました。</p> <p>多岐にわたり食育について学ぶ事が出来ました。</p>																
新型コロナウイルス感染症の影響																
緊急事態宣言時は中止、まん延防止重点措置時は講義のみで、人数・時間の厳格な制限に従って2部制にて事業を行いました。																
取組の成果																
感染防止対策として、参加者の健康チェック(参加前・受付時検温)、ソーシャルディスタンスを保った席配置の工夫、1人1テーブル指定席、入室退室別のドアで一方通行にするなど創意工夫も回ごとの会場設定がスムーズに出来るようになった。また、農林水産省関東農政局事業支援部食品企画課講義食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢は会・個人個人として食品ロス削減に取り組む意識をより深める事ができた。																

2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況

- ・健康増進課
- ・食品・医薬品安全課
- ・いきいき長寿推進課
- ・地域保健支援課
- ・子育て支援政策課
- ・青少年育成課
- ・保育課
- ・環境創造政策課
- ・資源循環政策課
- ・農業政策課
- ・保健センター共通事業
- ・各区保健センター
- ・健康教育課（教育委員会）
- ・生涯学習振興課（教育委員会）
- ・生涯学習総合センター（公民館の食育取組状況はP19～27）（教育委員会）
- ・防災課
- ・高齢福祉課

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など				
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
健康増進課 協働 ○	さいたま市食育なび (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日: 通年 場所: ウェブサイト http://www.saitamacity-shokuiku.jp/ 内容: 食育の基礎知識、学校や保育園の給食レシピ、地産地消、食中毒予防、食品ロス削減、食育取組事例などの情報を発信した。	アクセス数が増加した 令和元年度 120,150件 ↓ 令和2年度 189,552件 ↓ 令和3年度 235,600件	サイトのさらなる周知に努め、より多くの市民に食に関する情報を届ける。 また、繰り返しアクセスしていただくためには、掲載内容を充実させる必要がある。	
健康増進課 協働 ○	食育を实践しようプロジェクト (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:人間総合科学大学の学生	実施日: 令和3年8月5日、11月30日 場所: WEB会議 内容: 実施内容、スケジュール等の検討	実施内容が決まらず、年度内の実践は無し。	学生が主体的に取り組めるよう支援する必要がある。	
健康増進課 協働 ○	5つの「食べる」の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日: 食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)等 通年 場所: 市内 内容: ・令和3年度重点目標の「まごころに感謝して食べる」について小学生が描いた絵をデザインしたポスターを作成し、保育施設、教育機関、公共施設等へ配布した。 ・食育なび、市ウェブサイト、市報、民間の会報誌等に食育に関する啓発記事を掲載した。	小・中学生が食育推進に関するポスターを描くことは、望ましい食生活について考える機会となっている。 民間の会報誌等にも啓発記事を掲載し、食に関する課題の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課 協働 ○	毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間(重点プロジェクトの推進) (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日: 10月 場所: 市内 内容: ・朝食を食べる市民の増加を目的に、リーフレットを作成した。市の特産品「紅赤」で市民の興味を引き、簡単なレシピで実践につなげられるよう、さいたま市女性農業者連絡会にレシピを考案していただいた。リーフレットは公立保育園(61園)の全児童の保護者へ配布したほか、保育施設、教育機関、公共施設等へ配布した。 ・食育なび、市ウェブサイト、市報に朝食摂取に関する啓発記事を掲載した。	リーフレットの配布を公立保育園に協力いただいたり、レシピを食育なびに掲載したりすることで、朝食欠食の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。 なお、リーフレットは消費・安全対策交付金を活用し作成した。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課 協働 ○	各ライフステージにおける食育の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日: 通年 場所: 市内 内容: ・健康増進課の上記の各取組で、ライフステージに応じた食育の普及啓発に取り組んだ。 ・「さいたま市食事バランスガイド3〜5歳児向け」リーフレットを増刷し、保育施設、幼稚園等へ配布した。 ・認可保育園、幼稚園の食育の取組事例をまとめ、「さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」を作成し、各施設へ配布した。また、「さいたま市食育なび」に掲載した。	食育月間のポスター等と共に、認可保育園、幼稚園、認定こども園へ配布し、食事バランスガイドの活用を図った。 なお、リーフレットとさいたま市乳幼児期における食育取組事例集は消費・安全対策交付金を活用し作成した。	高齢者を対象とした食育について、関係課と連携した取組を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働 —	食の安全・安心市民講習会の開催 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 市内在住、在勤、在学中で18歳以上の方 24人 回数: 5回	実施日: ①令和3年10月7日(木)②令和3年11月9日(火)③令和3年12月9日(木)④令和4年1月12日(水)⑤令和4年2月2日(水) 場所: ①②③⑤大宮区役所、④コープデリ商品検査センター 内容: ①食品の安全性の考え方について、さいたま市の食の安全確保対策、保健所食衛生課の業務について、食中毒予防と衛生管理、実習②食中毒予防と衛生管理、食品添加物の役割とその安全性、さいたま市の食品等検査業務について③食中毒予防と衛生管理、農産物の安全確保のための正しい農産物の知識、食肉の安全確保対策について④施設見学⑤食中毒予防と衛生管理、食品表示規制、健康食品の不当表示について	受講者24名が受講修了した。	対面集合形式の開催だけでなく、自宅受講用の資料も作成したが、受講者の幅を広げるためにもインターネット等を活用したさらなる取組を検討する必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和3年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題													
食品・医薬品安全課 協働—	食の安全市民ネットワーク会議の開催 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:食の安全・安心市民講習会の修了者 定員:なし 回数:1回	実施日:令和4年2月18日(金)(書面開催) 内容:ネットワーク通信、リーフレット等の送付	推進員73名に対し送付した。	感染症予防対策のため、開催回数1回で書面開催となったが、ネットワーク推進員が活動を継続しやすくするため、開催方法等を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働—	食の安全フォーラムの開催 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:制限なし 定員:100人 回数:1回	実施日:令和4年3月30日(水) 場所:浦和コミュニティセンター 内容:牛乳は生きている～生乳の風味変化とは～	50名が参加した。	身近な食品をテーマとして開催し、参加者から食の安全に対する理解が深まったとの感想が得られたが、60才以上の参加者が8割を占めており、幅広い年齢層の参加者を募る方法等を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働○	夏の食中毒予防対策強化期間の実施 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:市民	実施日:令和3年7月～9月 内容:ウェブや街中の電光掲示板等を活用した食中毒予防キャンペーン、市報さいたま7・8月号への記事掲載、市内小中学校への食中毒予防啓発情報の配信、食肉等の処理・販売・提供等を行う施設の監視指導	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけでなく、情報の活用方法についても伝える必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働○	冬の食の安全注意報事業の実施 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:市民	実施日:令和3年11月～令和4年1月 内容:ウェブや街中の電光掲示板等を活用した食中毒予防キャンペーン、市報さいたま11月号への記事掲載、市内小中学校への食中毒予防啓発情報の配信、社会福祉施設等を所管する庁内関係課所に食中毒予防啓発情報の周知依頼	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけでなく、情報の活用方法についても伝える必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働○	食の安全委員会、食の安全対策会議の開催 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	【食の安全委員会】 参加者:委員を委嘱された方 人数:13人 回数:4回 【食の安全対策会議】 参加者:庁内関係課所長 人数:10人 回数:3回	【食の安全委員会】 実施日:①令和3年6月28日②令和3年10月21日③令和3年11月17日④令和4年2月15日 場所:①書面開催、②コープデリ商品検査センター、③浦和コミュニティセンター、④武蔵浦和コミュニティセンター 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について 【食の安全対策会議】(書面開催) 実施日:①令和3年6月14日②令和3年11月4日③令和4年1月26日 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針アクションプランや食品衛生監視指導計画に反映した。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、活発な意見交換を行い、施策に反映していく。	
食品・医薬品安全課 協働—	食の安全基本方針アクションプラン、食品衛生監視指導計画の策定 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:市民	【食の安全基本方針アクションプラン】 令和2年度プランの実績確認、令和3年度プランを作成し、8月に策定した。 令和4年度(素案)の令和4年度目標の作成を行った。 【食品衛生監視指導計画】 令和4年度年度計画(案)を作成し、12月1日から12月28日まで意見募集を行った。 御意見を踏まえた上で、計画を策定した。	食の安全委員会、食の安全対策会議及び意見募集で得られた意見を反映し、策定することができた。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、策定を進めていく。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題									
三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題									
食品・医薬 品安全課	ホームページ、食育ナビ 及びSNSを利用した市民 への情報提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日:随時 内容:食の安全に関するお知らせや、食品衛生監視指導計画に基づく監視状況等を掲載した。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。 ホームページの整理を行う必要がある。	
いきいき長 寿推進課	健口教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住で、 65歳以上の方 実施回数:区ごと に年2コース、1 コース3日間開催 参加者:115人	実施日:区ごとに会場及び日時を設定 場所:区役所等 内容:高齢期の栄養や口腔機能、フレイル予防などを、 全3回の教室で学びます。 講師:埼玉県栄養士会等から派遣	栄養士による高齢期の食生活やオーラルフレイルに関する講義に加え、食事バランスシートのチェックとフィードバックを行う個別支援も含めた教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、1コース目は全会場で開催中止としたが、2コース目は感染予防対策を講じた上で予定どおり実施した。	
地域保健支 援課	健康づくり協力 店普及促進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:健康づくり 協力店指定店舗 95店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、ポスター作成、市ウェブサイト・ポスターによる情報発信等	・指定店舗11店舗増加(新規指定13店舗、辞退2店舗し、市民に健康情報を発信する機会が増えた。 ・健康づくり協力店を紹介するポスターを作成し、各区保健センターに掲示した。 ・市ウェブサイトとポスターを通して本事業を広く周知したことで、指定店舗のPRにつながった。	・指定店舗がバランスメニューの提供や健康情報の発信を適切に実施できるよう支援する必要がある。 ・健康づくり協力店を利用する市民を増やすため、健康づくり協力店のPRを引き続き行う必要がある。また、市民の健康づくりのための食環境を整備するため、指定店舗数を増やす必要がある。	
子育て支援 政策課	食育に関する 情報の配布、 掲示の協力	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	のびのびルーム 利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	例年は離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があった際に、0~2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力していたが、令和3年度は依頼が無かったため、掲示等の協力は行わなかった。	放課後児童クラブの空き時間を開放するという事業の性質上、ポスター等の掲示については難しい場合がある。	
子育て支援 政策課	単独型子育て 支援センター での食育に関する 事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	単独型子育て支援 センター利用者	実施日:不定期 場所:子育て支援センター 内容:離乳食教室、タマネギ収穫、お芋掘り、里芋堀など各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。 ・食への関心を高める体験をする機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支援センターの特徴を生かした講座やイベントを引き続き実施する。	
青少年育成 課	三橋児童セ ンター「幼児食と おやつ講座」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:幼児とその 保護者 実施回数:1回 参加者数:幼児2 人、保護者2人	実施日:2021年5月25日(火) 場所:三橋児童センター 内容:幼児食期の食事とおやつの与え方、作り方などについての講話 講師:大宮区保健センター栄養士	講師の話にうなずいたりメモをとったりして保護者の熱心さが伝わった。講座終了後も個別に質問するなど食に対する関心の高さが伺えた。	定員12組としたが、事業が縮小されていた時期であり、広報活動が不十分であった。来館がなくても広報する手段を模索し、安心して参加できる環境を確立したい。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	5つの「食べる」 目標			食文化や 地の物		対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題							
				確かな目 をもって	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
青少年育成課	天沼児童センター「管理栄養士講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:乳児とその保護者 実施回数:1回 参加者:7組	実施日:2021年6月17日(木) 場所:天沼児童センター体育室 内容:離乳食をテーマに管理栄養士から子育てについての講話	児童センター職員が子どもの見守りを行ったことで、保護者は講話を集中して聞けて、質問されるかたも多かった。	予約制にしましたが、当日参加者が多かった。できれば事前に質問内容を聞いて、講話の中で伝えられるようにしていきたい。		
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—						
青少年育成課	【片柳児童センター】離乳食講話	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:乳幼児親子 実施回数:1回 参加者数: 乳幼児5名、保護者4	実施日:2021年7月8日 場所:片柳児童センター 内容:保健センター管理栄養士による離乳食のお話、相談	離乳食について話を聞き、乳幼児期の食について理解を深められた。また、個々の悩み等を共有でき、不安解消につながった。	複数回実施し、多くの方が参加できるようにする。		
協働 ○	(新規)	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○						
青少年育成課	【春野児童センター】子ども公民館	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:小学生・保護者 定員:10組	日程: ①2021年8月5日 場所:春岡公民館 内容:おかしタワー	コロナ感染拡大防止のため食育は中止とし、工作を実施。			
協働 ○	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○						
青少年育成課	【文蔵児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:乳幼児親子 参加人数: ①幼児11人、 保護者11人 ②中止	実施日: ①2021年6月22日(火) ②2022年2月10日(木)※中止 場所:文蔵児童センター 内容:乳幼児期の食について理解を深める。南区保健センターの栄養士による食育講座と食に関する相談役を行う。また個別相談も行う。 ※②については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	栄養士による食育講座として講話を実施。前半は「食中毒の予防」「食育月間」について講話を行い、後半は参加者から「手づかみ食べ」、「食べる量」等の質問を受け、全体に向けて回答を行った。参加者はみな同様の悩みを持っており、その対応が理解できたことで満足されていた。	「食」について専門職の指導や助言をいただきつつ、参加した保護者同士が自分の悩みや心配事を気軽に話せる場として有意義であり、次年度も継続実施したい。		
協働 ○	(継続)	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—						
青少年育成課	【与野本町児童センター】離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:乳幼児とその保護者 実施回数:1回 参加人数: ①親子2組 (乳幼児2人、保護者2人) ②参加人数0人	実施日: ①2021年6月23日(水) ②2022年2月18日(金)中止 場所:与野本町児童センター 内容:栄養士による離乳食・幼児食についての個別相談	コロナ感染拡大予防のため定員を少なくし個別相談を実施。個別相談だったため、保護者からの質問にも、丁寧に対応していただき、知識を深めることができた。2回目は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	多くの人に知っていただくために、広報の時期や方法について検討していく。		
協働 —	(継続)	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—						
青少年育成課	【大久保東児童センター】栄養士による講話	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:乳幼児とその保護者 ①乳幼児5名、保護者5名 ②乳幼児6名、保護者6名	実施日:①2021年10月6日(水)②2021年10月14日(木) 場所:大久保東児童センター 内容:保健センターの栄養士を講師とし、離乳食やバランスのいい食事についての講話、利用者からの質疑応答、悩み相談など	離乳食やバランスのいい食事についての講話を聞き、食育についての理解が深められた。また個別相談を行うなど、利用者が日々悩んでいることが解決された。	乳幼児とその保護者が参加する事業内で行うので、乳幼児が講話中に飽きてしまうことへの対応		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容												
青少年育成課	【仲本児童センター】 仲本ファーム プチトマト栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:利用者全般	実施日:2021年5月～7月 場所:仲本児童センター・仲本荘玄関前 内容:プランターで栽培したプチトマトの成長を見守り、収穫する。	玄関前の栽培以外に館内掲示をして利用者に成長過程を見ていただけた。 館内掲示の記録は、成長の過程がよくわかるので、今後も継続して周知したい。	コロナ禍になってから感染予防策として職員が収穫している。しかし、収穫を希望する利用者もいるので、感染予防策を講じた上での収穫の仕方など検討する必要がある。	
青少年育成課	【尾間木児童センター】 家族でじゃがいも作り体験 尾間木公民館共催事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:幼児と小学生とその保護者 実施回数:1回	日程:①2021年4月24日(土) 場所:尾間木公園近くの畑 内容:草むしり、土かけ、間引き 市制20周年イベント「見沼通船堀の歴史」講話 日程:②2021年7月10日(土) 場所:尾間木公園近くの畑 内容:収穫	①畑作業の前に通船堀の講話を受け地域の史跡について学ぶことができた。また、3月27日に植え付けた芋の成長を確認し、草取りや間引きや肥料やりなど体験することができた。 ②自身が植えた芋を収穫し、想像以上の量が掘れたことで収穫の楽しさを体験できた。	畑の借用ができず、次年度は中止となりました。	
青少年育成課	【尾間木児童センター】 食育コーナー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:利用者全般	日程:通年 場所:尾間木児童センター 廊下 内容:食に関する悩みや、おすすめのメニューなどを自由に書き込めるよう、ボードを設置する。	年間50件ほどの書き込みがあった。		
保育課	保育園での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数:71事例	場所:各公立保育園 内容: ・公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課栄養士が公立保育園に出向いて実施した園児向けの食育が10事例。 ・給食で提供している献立のレシピを作成し、配布。(主食、おやつ)のレシピ13種類)	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実践することができた。 また、保護者向けに作成した給食の人気レシピを配布を行い、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。	 食育イベント「調味料当てクイズ」の様子
保育課	食だよりの発行	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施回数:年6回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育ナビ上へ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生・食物アレルギーについての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。 また、食育ナビへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	令和3年度に発行した食だよりの内容 ・春号:公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介 ・夏号:脱水症予防のポイント、夏におすすめのレシピの紹介 ・秋号:「ニッポンフードシフト」の紹介、埼玉県産地消月間とさいたま市産地消の日について
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(2園)での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:3事例	場所:公立保育園併設型支援センター(大砂土保育園、西町保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体に、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加数を少なくし、1人1人の栄養相談の時間をしっかりと設けることができた。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における食育活動の発信 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市内の保育施設、食育なびの閲覧者 実施回数:6事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で行っている食育の取組、食物アレルギー研修の紹介	各園に直接出向いて食育を行うことが難しいことを受け、園での取り組みを食育なびで積極的に発信した。これにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信ができた。	今後も継続して発信していく。	 「自家製ヤマモモジャム」
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における給食献立の発信 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:食育なびの閲覧者 実施回数:5事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で提供している給食献立レシピの紹介	食育なびで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。	 米粉のケークサレ
保育課 協働—	食物アレルギー研修会及び講演会 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	○エビベン研修会 実施回数:2回 対象:市内保育施設の職員 ○新任職員食物アレルギー研修会 対象:市内保育施設の新任等聴講歴の無い職員 参加者数:172名	○エビベン研修会 場所:アナフィラキシー児やエビベン預かり児が在園している保育施設 内容:アレルギー対応についての講話、エビベン使用方法のデモンストレーション ○新任職員等食物アレルギー研修会 実施日:①11月29日(月)②12月14日(火) 場所:①浦和コミュニティセンター②プラザノース 内容:「食べて治す!子どもの食物アレルギー」研修(講師:さいたま市民医療センター 小児科 診療部長 西本 創氏)	エビベン研修会は、食物アレルギーについての講話とエビベン使用時の流れを確認することで、基本的な知識の習得を図ることができた。 また、研修会は規模を縮小し、対象を新任等聴講歴の無い職員とすることで、正しい知識を施設で共有することにつながった。	感染症拡大防止のため、実技講習を行うことが難しく、方法について検討が必要。 また、規模を縮小し、参加人数を制限したため開催の方法について検討が必要。	 新任職員等食物アレルギー研修会の様子 (座席の間隔をあけて実施)
環境創造政策課 協働○	さいたま市環境フォーラム (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小学校の5・6年生 実施回数:1回 参加者:1,934人(15校) アーカイブ配信 1,552人(9校)	実施日:令和3年11月19日(金) 場所:市立小学校(15校) 内容:お魚の豊富な知識と経験、楽しいトークで有名なさかなクンを講師として招き、海洋プラスチックなどの環境問題や豊かな自然や海を守るため、私たちに何ができるかを一緒に考えるオンライン授業を開催	海洋プラスチックが海洋生物に与える悪影響や、豊かな自然や海を守るために私たちができることなどを、イラストを描きながら分かりやすく説明し、環境のために、小学生でもできることとして、①食べ物を感謝していただきましょう、②マイ●●●を持とう、③ごみは決められた場所にとりあえずメッセージが送られた。	感染症拡大防止のため、令和2年度は開催中止、令和3年度は小学生を対象としたオンライン開催となった。令和4年度は、実会場で開催する予定だが、感染症対策や実施方法の変更等の検討が必要となる。	
環境創造政策課 協働○	エコライフDAY (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	夏 8,989人 冬 8,690人	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組で、環境配慮のきっかけ作りを目的としている。取組項目には、「食べ残しをしない」「野菜は旬なものを選ぶ」といった、食育推進に関連する内容が含まれており、市立小中学校の児童・生徒・市職員やその家族などに取り組んでもらった。	環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取り組んでもらうことができた。	参加者を増やすため、一人ひとりの行動が地球温暖化防止につながるという本取組の趣旨を周知し、参加を促していく。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)					成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題											
資源循環政策課	九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会 3R普及促進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象：九都県市内住民	実施日：令和3年4月～ 場所：九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市）域内 内容：食品ロス削減を含む省資源化を行う企業を支援する、「チャレンジ省資源宣言」を実施。ホームページで企業の取組等を紹介している。また、令和3年10月から11月まで宣言企業の商品が当たるキャンペーンを実施。そのほか、令和3年10月の食品ロス削減月間に合わせ、車内広告でのポスター掲示やコンビニエンスストアで広告を放映。	例年普及啓発活動を行っていたイベントが中止となる中、ホームページや車内広告等を活用し、広く周知することができた。	イベントが開催しづらい状況下でもいっそう多くの市民に周知できるよう、PRの方法をさらに工夫していく必要がある。	
資源循環政策課	Saitama Sunday Soup (あまった食材、スープにしゃぶしゃぶ！)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+		実施日：令和3年4月～ 内容：食品ロス削減を呼びかけるため、パンフレット・動画を制作。食品ロス削減につながる「買い方」と「冷蔵庫整理術」を紹介したほか、あまった食材は日曜日にスープにして食べつくそう、ということや、レシピとともに提案している。インスタグラムなどにもレシピを掲載中。	パンフレットはイベント等で配布するほか各区の情報公開コーナーにも配置しており、おおむね好評を得ている。 またインスタグラム等を活用することで双方向での啓発活動を行うことができた。	インスタグラムでは市民等から投稿のあったレシピも掲載している。さらなる投稿増加のためにも、いっそうのPRが必要である。	
資源循環政策課	チームEat All	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+		実施日：令和3年4月～ 内容：食減ロス削減に取り組む企業と市が協働で食品ロス削減を推進するチームを結成。市では企業の取組の紹介等を実施。 チームEat All参加事業者の取組を紹介する双方向型の動画を作成し、令和3年10月から公開。10月の食品ロス削減月間の期間中には5,368回の視聴があった。	令和4年2月末現在で32の事業者が参加。市ホームページを通じ、広く市民に周知している。	事業者の取組についてより多くの市民に周知できるよう、PRを強化していく必要がある。	
農業政策課	児童体験農業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象：市内小学校の小学5年生（指扇小学校）	場所：指扇小学校 内容：小学生を対象に田植え・稲刈り体験を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。体験の代わりに、田植え・稲刈りの写真を授業で取り上げ、収穫したお米を児童たちへ提供した。	生産過程を知ることで、食の大切さを学ぶことが出来た。農業後継者対策推進協議会事業として実施している。	参加学校数が伸び悩んでいる。	
農業政策課	エコ農業直接支援事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+		実施日：－ 場所：西区 内容：生産者の減農薬・減肥料栽培を支援し、カバーアップを用いた栽培や農業・化学肥料の使用を慣行の5割以下に減らした栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくりを推進した。	減農薬・減肥料で環境負荷の小さい米作りを推進できた。	レンゲなど種苗、資材が高騰し、実施者から事業継続を危ぶむ声がある。	
農業政策課	さいたま市農情情報ガイドブック・マップ作成	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+		実施日：－ 場所：－ 内容：農業情報を掲載した冊子の作成（23,000部）、配布を行った。	市内農業の市民へのPRに努めるとともに、地産地消の推進を図った。	配布場所を工夫する等、冊子のより効果的な利用方法を検討する必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など				
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ				実績 (令和3年度)			成果	課題		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題							
農業政策課 協働	農産物ブランド化事業 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：— 内容：さいたま市内には、くわい・紅赤・さいも・小松菜・チコリー・木の芽など特色ある農産物が多く生産されており、花や植木の生産も盛んである。これらの農産物自身をPRするとともに、加工品の開発・商品化を行い、市内農産物の生産振興とその販路拡大を図った。	紅赤の商品化を行ってくれる店舗の新規開拓や農産物の庁内外でのPR活動を行い、特産品の認知度向上に貢献できた。	加工品の原料の供給が不安定である。	
農業政策課 協働	ニーズ対応型農業支援事業 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	—	実施日：— 場所：— 内容：消費者ニーズに対応した「欲しいものをつくる」ニーズ対応型農業を支援するため、地元業者と連携をとり、ホップの試験栽培を行った。	少量ながら、地元業者にさいたま市産ホップを納入した。	生産量が少なく供給が難しい。	
10区保健センター協力事業 協働 ○	食育推進情報交換会 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：学校栄養職員 実施回数：2回 (緑区・岩槻区) 参加者数：緑区：15名、岩槻区：19名	実施日：令和3年7月26日、28日 実施場所：緑区保健センター、岩槻区センター 内容： ・講義「第3次さいたま市食育推進計画の目標、課題について」、「保健センターの健康づくり施策、ヘルスプランの区版について」 ・情報交換「自校で行っている食育や困り事等について」 ※見沼区保健センターは新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となったが、資料等を学校へ送付	グループワークを通じて、食育の課題や問題解決のための取組みについて考えることができた。	今後も本事業で得られた栄養士間のつながりを活用し、連携を図りながら本市の食育推進に取り組む。	
10区保健センター協力事業 協働 —	親子食育講座はくばくごはん教室～幼児期の食事～ (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：1歳半～2歳児の保護者 実施回数：3回 参加者数：15人	実施日：8月30日、10月15日、12月2日 場所：市内3会場(桜区、北区、大宮区保健センター) 内容：講話、食育デモンストレーション	Zoomでの実施となったが3回実施することができた。参加者全員が教室後アンケートで、食事量、食べる工夫について「理解できた」「だいたい理解できた」と回答し、お家でできる食育については9割以上が「実践したい」「どちらかといえば実践したい」と回答した。	定員に満たなかったため、周知媒体の種類や方法を増やしていく。また、感染予防を徹底した食育体験の方法やリモートでの実施方法について検討する。	
保健センター 共通事業 協働 —	食生活改善推進員の育成 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：食生活改善推進員 実施回数：67回 参加者数：623人	実施日：区によって異なる 場所：各区保健センター等 内容：各区の状況に応じた、食生活改善推進員の育成。	地区活動等が円滑に進むよう、各区の状況に合わせた支援(研修会の開催や活動へのアドバイス等)を行った。支援を通して、地域における食を通じて健康づくりを進めている。新型コロナウイルス感染予防のための講義を中心とし、調理実習は一部の区で実施した。	食事バランスガイドの理解を深め、実践できる会員を増やしていくことをテーマに、会員一人一人の質の向上と、会員数の増加を引き続き目指す。新しい生活様式を踏まえて、講義等実施する必要あり。	
保健センター 共通事業 協働 —	特定保健指導 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：積極的支援対象者 実施回数 93回 参加者数 93人	実施日：区によって異なる 場所：各区保健センター 内容：生活習慣改善の自主的な取り組みのため、行動目標を立て、3か月以上の支援を行う。乱れた食生活を改善し、内臓脂肪の減少のために1日にどの位のエネルギーが必要なのかを知り、朝食の大切さ、3食バランスよく取ることを食事バランスガイドなどを活用して支援していく。	実績評価時の栄養・食生活の状況は、約8割が改善していた。特定保健指導を受けた方は、食生活の見直しについて認識できたと考えられる。	受講者数を増やすため、健診後、対象者が特定保健指導に繋がるような働きかけが引き続き必要である。また、より分かりやすく、取り組みやすい資料を用いた説明や教育を取り入れることでより改善につなげていく必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
保健センター 共通事業	地区依頼教 育	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区によって異なる。 実施回数16回 参加者数224人	区の状況に合わせて実施した。	各区において実績評価、改善をしている。	第3次さいたま市食育推進計画の推進を図るための取組を行う必要がある。	
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
保健センター 共通事業	離乳食教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:4~5か月児の保護者 実施回数:120回 参加者数:1532人	実施日:区によって異なる 場所:各区保健センター 内容:離乳食の進め方の講義と形状見本の提示等	安心して離乳食をすすめられるよう、形状見本の提示等を交えて教室を実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの教室を実施した区もある。 教室中止の際には市ホームページの「動画de離乳食教室」のページを案内し情報提供。	新しい生活様式に合わせて実施方法や内容・定員等を変更して実施する必要がある。	「動画de離乳食教室」の二次元コードです。 
協働 —	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—					
保健センター 共通事業	出産前教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:主に初妊婦とその夫やパートナー等 実施回数:59回 参加者数:672人	実施日:区によって異なる 場所:各区保健センター 内容:妊娠中の食生活の留意点についての講義	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、オンライン開催等各区の現状に応じて実施した。	区、月によって参加状況に差がある。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を行い、各区の現状にあった内容になるように、事業を実施していく。	
協働 —	(継続)	○	○	○	—	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—					
西区保健センター	幼児食教室 ~子どもの食事の悩みを解決するヒントをお教えします~	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:1歳6か月以上3歳未満の児の保護者 実施回数:1回 参加者数:7人	実施日:8月3日(火) 場所:西区役所保健センター 内容:幼児期の食生活について 子どもの食事の悩みを解決するヒントについて	今年度から開始した本教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施方法を対面形式からオンライン(Zoom)形式に変更し実施した。実施方法を変更したことで当初の申込数10名から7名に減ったが、アンケート結果からはオンライン実施は参加しやすかったことが伺えた。	次年度の実施に向けて、新型コロナウイルス感染症の発生状況等を踏まえ、実施方法をオンライン形式にすることも視野に入れて準備を進める必要がある。	
協働 —	(新規)	○	○	○	○	○	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—					
西区保健センター	健康!ほっとステーション	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区役所来庁者	実施日:6月、9月、10月 場所:西区役所保健センター 内容: 6月「食育月間」に関する掲示とリーフレットの配布 9月「食生活改善普及運動」に関する掲示とリーフレットの配布 10月「朝ごはん食べよう強化月間」に関する掲示とリーフレットの配布(市民ホール)	保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている姿が多数見受けられた。また、市民が持ち帰れるよう資料を設置しており、閲覧利用だけではなく、啓発資料が市民の手に渡り活用されていると考える。	時宜にかなったテーマや区民に関心を持っていただけるようなテーマを設定する必要がある。	
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
北区役所保健センター	北区健康づくり階段クイズ	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:北区役所来庁者	実施日:①6月②9月③12月④3月 場所:北区役所東側階段 内容:①朝食②減塩③野菜摂取④バランスの良い食事各テーマに関するクイズの問題・解答の掲示、関連するリーフレット、保健センター健康づくり事業一覧表の配置	階段を利用している市民に対し、食の情報を発信することで健康に対する意識を高めるきっかけづくりを行うことが出来た。	どのように意識変化をもたらしているか等の効果測定が難しい点が課題として挙げられる。	
協働 —	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題								
三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
北区役所保 健センター	けんこうギャ ラリー	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:プラザノ ース来場者 実施回数:1回 参加者数:437人	実施日:令和3年9月2日(木)、9月3日(金)、9月6日(月) 場所:プラザノース1階 アトリウム (1階総合インフォメーション案内付近) 内容:健康に関する展示を通じて、生活習慣病予防の啓発をする(糖尿病予防の食事、朝ごはんの必要性等)	今回の会場は日頃通路として利用している人が多い場所であり、会場変更したことで通りすがりに気軽に見てもらうことができ、来場者数の増加につながったのではないかと推察される。(前年度数112人)	引き続き、新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視し、新しい生活様式を踏まえた幅広い世代の区民に対して食育推進を目的とした普及啓発を実施する必要がある。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
北区役所保 健センター	糖尿病予防 教室 食事 のコツを知 ろう!	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住 の18~74歳まで の方 実施回数:1回 参加者数:11人	実施日:令和3年12月1日(水) ※5月18日(火)は中止 場所:北区役所保健センター 内容:管理栄養士、保健師、歯科衛生士による講義、体脂肪・筋肉量測定	アンケートより①生活習慣病について②生活習慣改善の必要性について、ともに全員の方が理解度100%という結果だった。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。	
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○					
北区役所保 健センター	食育ラボ~ 実験!発見! 野菜の ヒミツ	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住 の小学生とその 保護者 実施回数:1回 参加者数:2組4 人	日程:令和4年1月16日(日) 場所:北区役所保健センター 内容:栄養講義、野菜についての実験、歯科講義、がん検診等の啓発	アンケート結果より「今後の生活習慣を改善するために役に立った」と回答した人の割合は100%だったことから、本教室は参加者の動機づけにつながったと考える。	コロナ禍ということもあるが、参加者数が少なかったことが課題。申込み率を上げるため、周知方法や開催時期の検討が必要である。	
協働—	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—					
大宮区保 健セン ター	食育推進を 目的とした普 及啓発(掲示 等)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:大宮区役 所来庁者 3回開催	実施日:6月食育月間内(令和3年6月14日~30日)、 8月食品衛生月間(令和3年8月2日~31日)、 場所:保健センター掲示コーナー 内容:ポスターや掲示物での啓発、パンフレットの配布	保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示物を見ている姿が多数見受けられた。市民にとっで見やすい配置にするために、掲示物の内容に合ったリーフレットを近くに設置した。	保健センターの入口外側に設置できるリーフレットや掲示物にも限りがあるため、より区民に関心を持ってもらえるようなテーマの掲示物や配布するリーフレットの選択が必要である。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
大宮区保 健セン ター	ママの元気 アップ講座 ~ちょっと一 息、こころと からだのほぐ しタイム~	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住 の0歳から3歳未 満児とその保護 者 1回開催(年間4 回開催のうちの1 回) 7組14人	日程:令和3年7月16日(金) 場所:子育て支援センターおおみや 内容:保健師、管理栄養士の講義、体組成測定	コロナ禍で感染対策をとりながらの実施だったが、7組の参加があった。「足りない栄養素がわかってよかった」「自分自身の食事もう気をつけようと思った」など、育児中の女性が自分自身の健康を見直すきっかけとなったと考えられる。	「ためになるお話でした」と好意的な意見も多く見られたが、「もう少し深い内容だとよかった」という意見もあった。より満足度の高い講座にするため、今よりも深い内容をわかりやすく伝えられるような講義内容を検討していきたい。	
協働○	(継続)	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—					
大宮区保 健セン ター	親子でわくわ く!食育スタ ンプラリー	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住 の2歳から6歳児 (未就学児)とそ の保護者 1回開催 3組	実施日:令和3年10月5日(火) 場所:保健センター 内容:紙芝居を用いた管理栄養士の講話、食に関するクイズ、野菜スタンプ	教室後アンケートでは「教室の内容を家庭でも取り組んでみようと思うか」の問いに、参加者全員が「思う」か「少し思う」と回答した。「食のごはんの量が参考になった」「スタンプが楽しかった」などの感想があり、好評をいただいた。	対面での開催で、開催可否が直前まで定まらず、実習内容も短時間での検討となった。次年度は感染状況に左右されず、外出が難しい対象者も気軽に参加できるオンライン形式で実施する。オンラインでも双方向でやりとりができるような教室の開催を検討していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	○	○	—					

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)				成果	課題						
三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題						
見沼区保健センター 協働 ○	甘党さんのヘルシーレッスン (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住の30~74歳以下の方・特定保健指導「積極的支援」の方 実施回数:2日間1コース 参加者数:1日目...15人 2日目...13人	実施日:令和4年1月17日(月)、1月27日(木) 場所:1日目...見沼区役所 指導講座室 2日目...見沼区役所 大会議室 区役所・公園外周コース 内容:1日目...体組成測定 糖尿病についての講義 栄養講義・デモンストレーション 歯科講義 2日目...運動実技(ウォーキング) 区役所周辺でのウォーキングの実践	教室後のアンケートでは理解度・満足度も「どちらかといえば分かった」「やや満足」を入れると、全員が「分かった」「満足」と回答した。生活習慣改善の意向については全員が有りと回答し、生活習慣を見直すきっかけになったと考えられる。	本教室は3年目。リピーターもあり、糖尿病予防教室として、甘いものだけでなく、食生活全体について講義をしていく。社会情勢に応じて、感染症拡大防止対策を徹底して、効果的な教室を実施していく方法を引き続き検討していく必要がある。	デモンストレーションの様子 
見沼区保健センター 協働 —	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等) (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:見沼区役所来所者	実施日:通年 場所:見沼区役所ロビー・保健センター前 内容:6月の食育月間、10月の朝ごはんを食べよう強化月間を始め、月ごとにテーマを決め、食に関する情報を掲示し、パンフレットを配布。	6月は、「まごころに感謝して食べる」をテーマに食品ロスに関するリーフレット、レシピを啓発品とともに配布した。9月の食生活改善月間は、野菜摂取、減塩につながるレシピ等を配布した。10月は朝ご飯におすすめなレシピの配布の他、区報でも啓発を行った。	今後も区民に広く啓発できるよう工夫をしていく。ホームページやツイッター等の電子媒体を活用した啓発も実施していきたい。	
中央区保健センター 協働 —	食べ物飲み物ふしぎ発見教室 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:12組 実施回数:1回 参加者数:5組11名	実施日:令和3年8月29日(日) 場所:各家庭 内容:朝食を摂ることの大切さとバランスよく食べることについて学ぶ、調理実験	アンケート結果より、普段から朝食を摂っていることが分かった。「楽しく学べた」との意見があり、朝食の大切さについて改めて学べたと推察される。	Zoomでの開催となったため、参加者の実験の進捗が把握しにくく、一方的な講義に近い形になってしまった。反応を見ながら進めるなどの工夫が必要。	
桜区保健センター 協働 —	(M)みんなで(I)一緒に(A)歩こう会 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:さいたま市民(のびのびウォーキングエントリ者) 参加者:3名。	日程:10月26日(火) 場所:桜区役所保健センター 内容:栄養(朝ごはん)に関するミニ講義、ラジオ体操、座談会を実施。雨天のためウォーキングの代わりに「いきいき百歳体操」を実施。	アンケート結果より、実施内容は好評であった。	参加者を増やすため、教室の周知方法や内容、開催時期について検討する必要がある。	
桜区保健センター 協働 —	さくらカレッジ~糖尿病予防教室~ (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住の18~74歳の方 参加者:①11人、②9人	2日間1コース 日程:①12月2日(木) ②12月8日(水) 場所:桜区役所保健センター 内容:①糖尿病の基礎知識、糖尿病と歯周病の関係、血糖値をあげない食事(講義) ②糖尿病予防のための食生活、糖尿病、腎臓病について(講義)、血管年齢測定	アンケート結果より、実施内容は好評であった。	アンケートに「双方向でのやり取りを希望する」という意見の記載があったため、講師への質疑応答の時間を十分に設けられるよう改善する必要がある。	
浦和区保健センター 協働 —	親子食育教室「めざせ!お料理博士~小麦粉編~」 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の小中学生とその保護者1人 実施回数:1回 参加者数:8組16人	実施日:令和3年7月3日(土) 場所:浦和区役所保健センター 内容:小麦のふしぎのお話、グルテン取り出し実験、「食事のバランス」「食品ロス」のお話	アンケート結果より、全員から「食べることに興味を持つきっかけになったと思う」「バランスよく食べることに理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了(令和4年度は、事業名称や内容を変更し、親子食育教室を開催予定のため)	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物								対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
浦和区保健センター	健康スポットでの普及啓発	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:浦和区役所及び保健センター来庁者	実施日:令和3年6月、9月、10月 場所:浦和区役所健康スポット、保健センター健康スポット 内容: 6月「食育月間」に関する掲示とリーフレットの配布 9月「食生活改善普及運動」に関する掲示とリーフレットの配布 10月「朝ごはんを食べよう強化月間」に関する掲示とリーフレットの配布	毎月テーマに沿った啓発セットを作成し、ひと月あたり100～200セット程度を配布することができた。 区役所と保健センターの2か所へ健康スポットを設置していることで、より幅広い対象者への啓発を行うことができたと思われる。	引き続き、来場者の目を引く展示内容や啓発セットを検討・作成していく。	
浦和区保健センター	体組成測定会Next	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:区内在住の18歳以上の方 実施回数:2日(各日2部制) 参加者数:42人	実施日:①令和3年6月3日(木)②令和3年12月16日(木) 場所:浦和区役所保健センター 内容:体組成測定と結果説明、保健師による講義、管理栄養士による講義	アンケート結果より、全員から「生活改善の必要性を理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了(令和4年度以降は、事業名称や内容を変更し、新たな生活習慣病予防教室を開催予定のため)	
緑区保健センター	ぶよっとお腹を引き締める!食事と運動教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:緑区在住の18～64歳 実施回数:2回 参加者数:10人(①2+②8)	実施日:①令和3年6月10日(木)、②14日(月) 場所:緑区保健センター 内容:保健師講義「身を引き締める運動習慣」 運動講義・実技「お腹周りの筋肉を使うエクササイズ」 栄養士講義「バランスの良い食事」 体組成測定	アンケート結果より、教室の満足度・理解度が高く、今後改善できそうなこと、野菜をしっかりと食べることも意見が多く上がっていた。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた対面教室のほか、ZOOMを使用した教室を検討していく。	
岩槻区保健センター	親子運動教室・親子栄養教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:①②小学生とその保護者 ①8組18人 ②中止	日程:①6月27日(日) ②9月4日(土)中止 場所:①岩槻駅東口コミュニティセンター②岩槻区役所保健センター 内容:①かけっこ達人 栄養士講義「30～40代の食生活について」 ②レンジでチャレンジ!かんたんごはん	ライフステージごとの食生活のポイントについて講義をし、アンケート結果より、参加者の満足度は高く、「今日の内容を日常生活で実践できそうか」を尋ねた問いについては、「実践しようと思う」と答えた割合が100%であった。	食育がメインではない教室の場合、講義時間が短い為、対象が必要とする情報を精査しコンパクトに伝える必要がある。また、感染予防に配慮した実習の方法について検討する。	
岩槻区保健センター	健康月間における普及啓発掲示	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:岩槻区役所来庁者	実施日:①6月 ②9月 ③10月 場所:岩槻区役所3階保健センター 内容:①第3次食育推進計画について(まごころに感謝して食べる) ②野菜、牛乳・乳製品の摂取について ③朝食摂取について 各内容について、来庁者向けにポスターを掲示、リーフレットの配布を実施	利用する区民の多い3階に情報を掲示することで、保健センター来庁者以外へも食育や健康づくりへの知識の普及啓発ができた。	引き続きテーマや内容を変えながら、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。	
生涯学習振興課	「すくすくのびのび子どもの生活習慣向上」キャンペーン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校全児童生徒(啓発リーフレット配布)	・「すくすくのびのび子どもの生活習慣向上」キャンペーンの実施 ・啓発ポスター、リーフレットを作成 ・全ての市立小・中・中等教育学校及び特別支援学校(小・中学部)の保護者に啓発リーフレットを配布 ・全ての市立小・中・中等教育学校及び特別支援学校(小・中学部)にポスターを配布 ・私立幼稚園協会及び私立保育園協会にポスター・リーフレットを配布し、事業を説明 ・養護教諭研修会や保健主事研修会で周知(書面開催) ・市報さいたま(8月号)で生活習慣向上の呼び掛け ・生活習慣向上に関連する講座等の講師リストの更新	様々な手段を用い、児童生徒の生活習慣向上を保護者や学校、一般市民に広く周知・啓発することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、自粛生活を余儀なくされた子どもたちの生活リズムの乱れなどが懸念されているため、引き続きキャンペーンを実施し、学校・家庭・地域へ啓発していく。	 キ ロ ゴ

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
生涯学習総合センター	各公民館事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	P19～29 「令和3年度 公民館事業報告書」とおり				
協働 —	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
防災課	さいたま市防災ガイドブックの配布	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：市内転入者	実施日：2021年4月～2022年3月 場所：各区区民課、支所窓口 内容：市内転入者に対し、『さいたま市防災ガイドブック』を配布。	家庭での食料や飲料水の備蓄について、市民への周知を行うことが出来た。	必要に応じ、防災ガイドブックの内容の見直しを行う。	令和3年度の途中から、ガイドブック(冊子原本)の転入者へ配布を取りやめ、代替としてガイドブック(電子版)を案内するチラシを配布しています。
協働 —	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
高齢福祉課	在宅高齢者等宅配食事サービス事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：食事の用意が困難な単身高齢者及び高齢者のみ世帯等 延べ67,707食 延べ4,802人	実施日：週5日(祝日及び12月29日～1月3日を除く) 場所：利用者の各家庭 内容：単身高齢者及び高齢者のみ世帯等を対象に、ボランティア等地域資源を活用して、夕食を宅配する。	令和3年9月～11月に実施した利用者アンケートでは、食事を届けるボランティアの声掛けについて複数回答で尋ねたところ、回答者の約59%が「安心感がある」、約46%が「楽しみにしている」と回答しており、「もう少し会話があるといい」は約6%にとどまっている。食事の配達をきっかけとして、日々の生活の中での楽しみや、地域でのつながりを感じていただいているものと考えている。	左記のアンケートでは、食事に「満足」の方が約44%であり、「満足」の割合が高いとは言えない。民間事業者による配食サービスが充実してきている中で、事業の位置づけを検討する必要がある。食事を届けるボランティアについて、65歳以上の方が中心となっており、高齢化が進んでいる。	
協働 ○	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○				
高齢福祉課	ふれあい会食サービス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：70歳以上のひとり暮らしの市民 実施回数：93回 参加者数等：延3,282人	実施日：実施団体により異なる。 場所：公民館等 内容：70歳以上のひとり暮らしの方との交流を深めるため、ボランティアの協力により公民館等で会食を行う。	実施できた場合には、高齢者の孤独感の解消と健康維持に資することができた。	新型コロナウイルスの影響で実施できない地区も多かった。実施の場合も、会食ではなく食事の持ち帰り対応などとなった。	【補足】市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会福祉協議会が各地区の特色を活かして事業を実施している。
協働 ○	(継続)	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○				

令和3年度公民館事業報告書

件数total		総回数		参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)																				
143		269		4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続										
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別 コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	視聴・ 閲覧数	食育	さ	い	た	ま	し		協働	乳幼 児期	学 齡期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期			
西	指扇	2	-	39	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	自家製味噌作り講座	栄養満点な大豆発酵食品である味噌の作り方を学んだ。	管理栄養士/料理研究家	2月	1	どなたでも	16		1		○	○	○	○						○	○	○	○	
西	馬宮	3	-	28	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	日本文化体験4/味噌作り講座	日本の伝統的な発酵食品である「味噌」作りを学びました。	(株)伊勢惣	1月	1	成人	8		1					○						○	○	○		
西	馬宮	3	-	31	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	日本文化体験5/和菓子作り講座	日本伝統菓子である練り切り作りを学びました。	和菓子講師	12月	1	成人	10		1					○						○	○	○		
西	植水	4	-	34	1900	国際理解事業	おうちで楽しむクリスマス	①クリスマスのスワッグを作り、②フランスのクリスマス料理を体験しました。	フラワーデザイナー フランス料理ディプロメ	12月	2	成人	14		1		○	○	○	○						○	○	○	○	○
西	植水	4	-	39	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌づくり講座	味噌づくりの体験を行い、食文化の理解を深める事業。	味噌製造会社	1月	1	成人	17		1		○	○	○	○						○	○	○	○	
西	内野	5	-	18	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子どもHappy公民館「地元農園のブルーベリー摘みとパティシエ体験」	地元農園の協力により親子で摘み取りとタルトづくりを体験しました。	オーナー・農園パティシエ	8月	1	小学生とその保護者	10		1		○	○	○	○			○			○	○	○	○	
西	内野	5	-	42	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	楽しく学ぼう！春野菜の魅力	春野菜のおいしい食べ方、食品ロスなどSDGsの観点から学んだ。	野菜ソムリエ	3月	1	市内在住・在勤の方	11		1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
西	内野	5	-	43	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	【e公民館】おうちで簡単！フライパンでパンづくり	家庭で手軽においしくできるパンづくりの動画を配信した。	調理指導者	7月	1	どなたでも		352	1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
北	大砂土	6	-	39	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育講座/薬膳の基本講座	薬膳料理(漢方・冬野菜)を学びました。	国際中医薬師 野菜ソムリエ	3月	2	成人	43		2	○		○	○							○	○			
北	日進	7	-	25	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	野菜ソムリエから学ぶ「埼玉の冬野菜」	家族で冬野菜についての魅力や、フードロスを出来るだけ減らす方法などを、楽しく学びました。	野菜ソムリエ等	11月	1	どなたでも	11		1					○					○	○				
北	宮原	8	-	27	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	いきいき楽習5(生きがい健康づくり教室) 野菜ソムリエから学ぶ「春野菜」(手話通訳有)	介護予防普及啓発事業で、季節の健康料理について学びました。	料理研究家	2月	1	65歳以上の方	15		1	○		○											○	
北	植竹	9	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防普及啓発事業 BONSAI学園	介護予防普及啓発事業で、防犯・歌・食育・落語・歴史などを学びました。	合唱指導者、映像研究家、落語家 他	5月～12月	8	65歳以上の方	248		1			○											○	
北	植竹	9	-	12	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防普及啓発事業「毎日を健康に 薬膳教室」	介護予防普及啓発事業で、薬膳の考え方と自身の体質について理解を深めました。	薬膳講師	8月	2	65歳以上の方	26		2			○		○									○	
大宮	桜木	10	-	5	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	薬膳料理講座	市民の健康増進を目的とし、食材の効能を知る講座。	国際中医薬膳師	5月～6月	2	18歳以上	19		2			○							○	○	○	○		
大宮	桜木	10	-	6	1600	環境に関する学習事業	SDGs講座	「食」を通じて、大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮が必要であることを学ぶとともに持続可能な未来の地域社会を築くため、世界の現状を学び、参加者間の交流を通じて考えるため。	生活協同組合コープみらい活動サポーター	6月～9月	2	18歳以上	22		1			○		○					○	○	○	○		
大宮	桜木	10	-	18	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/料理教室	小学生を対象とした料理作りを学ぶ教室。	料理研究家	8月	1	小学生	11		1		○						○							
大宮	桜木	10	-	20	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防事業/さくらゼミ/進化する冷凍食品	冷凍食品の基本知識や冷凍食品ができるまでの工程、家庭で食材を冷凍するコツや冷凍食品を使ったアレンジ料理について学ぶ講座。※Zoomで公民館に集まった受講者と講師とを繋いで開催	株式会社ニチレイフーズ 出張工場見学フェロー	9月	2	65歳以上	32		2	○		○		○									○	

令和3年度公民館事業報告書

件数total		総回数		参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続								
143		269		4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→													
区	公民館名	館No. (名簿 順)	館内事 業No.	事業種別 コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	視聴・ 閲覧数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期		
大宮	大宮南	11	-	20	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	初心者のための蕎麦打ち体験教室	そば打ち体験をとおして参加者同士の交流を図る教室を開催しました。	地元そば屋の店主	11月	1	成人	5	1		○			○					○	○	○	○	○
大宮	大宮南	11	-	23	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業/家族DEクリスマススイーツ	親同士の交流・学び合いを目的にクリスマス料理教室と親の学習プログラムを行う講座を開催しました。	料理講師 ファシリテーター	12月	1	小学生とその保護者	11	1		○			○				○	○	○	○	○	○
大宮	大宮南	11	-	31	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌作り体験教室(午前の部)	味噌作りの体験教室。(手話通訳者の配置可能な障害者に対しても、配慮して実施する。)	料理教室講師 助手	2月	1	成人	9	1		○			○	○				○	○	○	○	○
大宮	大宮南	11	-	32	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌作り体験教室(午後の部)	味噌作りの体験教室。(手話通訳者の配置可能な障害者に対しても、配慮して実施する。)	料理教室講師 助手	2月	1	成人	10	1		○			○	○				○	○	○	○	○
大宮	大宮南	11	-	36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	e公民館「大宮南公民館の台所寒仕込み 味噌づくりの巻」	「味噌作体験教室」の内容について動画で配信しました。	料理教室講師 助手	2月	1	どなたでも		118	1		○			○	○				○	○	○	○
大宮	大宮中部	12	-	26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	季節の料理教室	食品や調理方法についての知識向上を目的とした、季節の料理を作る講座。	料理研究家 助手	12月	1	18歳以上の方	8	1		○			○					○	○	○	○	○
大宮	三橋	14	-	17	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	【e公民館】「おうちでチャレンジ! 本格フランス料理」	地域のレストランシェフの指導によりフランス料理の基礎を学ぶ動画をYouTubeでアップした。【連携】三橋の森カフェボスケ	フランス料理シェフ	5月	1	18歳以上		171	1	○	○	○	○	○								
大宮	三橋	14	-	25	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「親子パンづくり教室」	小学生を対象に親子でパンづくりを学んだ。【連携】三橋小、上小小	料理研究家、助手	8月	1	小学生とその保護者	16	1		○	○		○				○					
大宮	三橋	14	-	27	2521	子ども公民館事業	親子公民館/ハッピーハロウィン! 和菓子の練り切りがタルトケーキのデコレーションに?!	小学生と保護者を対象に練り切りの作り方を学んだ。【連携】三橋小、上小小	料理研究家、助手	10月	1	小学生とその保護者	8	1		○	○		○				○					
大宮	三橋	14	-	28	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「親子フランス料理教室」	小学生と保護者を対象にフランス料理の基礎を学んだ。【連携】三橋の森カフェボスケ、三橋小、上小小	フランス料理シェフ	8月	1	小学生とその保護者	8	1				○	○				○					
大宮	三橋	14	-	30	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	こだわりの材料でつくるおいしい味噌づくり教室	国産大豆から作る昔ながらの味噌づくりを体験した。	味噌づくり指導者	1月	1	18歳以上	8	1		○		○				○	○	○	○	○	○	○
大宮	三橋	14	-	33	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	そば打ち教室	伝統的なそばづくりを体験した。	蕎麦打ち指導者	6月	1	18歳以上	8	1		○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
大宮	大成	15	-	33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	野菜ソムリエから学ぶ講座	旬の野菜について栄養や料理方法など、その魅力について多面的に学ぶ講座。	野菜ソムリエ	10月	1	成人の方	15	1		○	○	○	○					○	○	○	○	○
大宮	大宮東	16	-	6	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業/親子パンづくり教室	子育て支援を目的とした、親子でパンづくりを学び、親の学習プログラムを実施しました。	ハフ講師 助手 親の学習ファシリテーター	10月	1	小学生とその保護者	9	1				○					○					○
大宮	大宮東	16	-	14	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/茶道教室	青少年の健全育成を目的に、日本伝統の茶道を通じて礼儀作法を学びました。	茶道指導者	8月	1	小学生	9	1			○		○				○					○
大宮	大宮東	16	-	26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男の料理教室【共催】大宮東地区社会福祉協議会	料理の楽しさや食育を学びました。	料理人	12月	1	大宮東地区在住の成人男性	8	1		○			○					○	○	○	○	○
見沼	大砂土東	17	-	3	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業/「シニア学級」(前期)	高齢者の生きがいづくりを目的に、食育(楽しく食べて健康に)、脳トレ、コンサートなどを実施しました。1回目は講師がZoomで参加しました。	ウォーキングインストラクター 他	5月~7月	7	65歳以上	140	1		○											○	

令和3年度公民館事業報告書

件数total		総回数		参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続								
143		269		4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→													
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	視聴・閲覧数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
見沼	大砂土東	17	6	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「キッズクッキング」	粉からこねてパンを作りました。	料理研究家	7月	1	小学生	12		1		○												
見沼	大砂土東	17	26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	春の和菓子作り	手作りすることの楽しさを和菓子作りを通して学びました。	料理研究家	3月	1	どなたでも	8		1		○			○									
見沼	大砂土東	17	29	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	みそ作り教室	日本の伝統発酵食品「味噌」について学び、豆から味噌を作ります。	株式会社 伊勢惣	2月	1	どなたでも	9		1		○			○									
見沼	大砂土東	17	31	1900	国際理解事業	国際理解講座「キムチ作り」	韓国料理作りを通して、韓国の食文化を学びました。	韓国料理講師	1月	1	どなたでも	8		1		○			○									
見沼	片柳	18	13	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	片柳子ども公民館「パパとクッキング&おしゃべり教室～親の学習事業～」	パパと子で料理を学びながら家族同士でおしゃべりし交流を図りました。	料理研究家・管理栄養士 親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	11		1		○			○									
見沼	片柳	18	14	2520	夏休み子ども公民館事業	片柳子ども公民館「クッキーづくり教室」	オリジナルのクッキーづくりを体験しました。	クッキー作り講師	8月	1	小学生	12		1		○				○								
見沼	片柳	18	15	2520	夏休み子ども公民館事業	片柳子ども公民館「パンづくり教室」	オリジナルのパンづくりを体験しました。	パン作り講師	8月	1	小学生	11		1		○				○								
見沼	片柳	18	30	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	お正月のおもてなし料理教室	お正月を簡単に華やかにできるおもてなし料理を学びました。	料理研究家・管理栄養士	12月	1	どなたでも	10		1		○			○									
見沼	片柳	18	37	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	太巻き祭り寿司づくり教室	季節にちなんだ祭り等を太巻きの芯に見立て、本格的な太巻きを作りました。	料理研究家・管理栄養士	3月	1	どなたでも	10		1		○			○									
見沼	七里	19	15	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	和菓子教室	和菓子の作り方の基本を学びました。	料理研究家	6月	1	成人	11		1					○									
見沼	七里	19	17	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「環境教室～木について学び、マイ箸を作ってみよう～」	木について学び、マイ箸づくりに挑戦しました。	ボラス株式会社	8月	1	小学3～6年生	20		1					○									
見沼	七里	19	19	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「環境教室～牛乳パックでリサイクルはがき作り～」	リサイクルはがき作りを通じて、牛乳パックのリサイクルについて学びました。	生活協同組合コープみらい活動サポーター	8月	1	小学生	18		1					○									
見沼	春岡	20	2	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業 前編	介護予防普及啓発事業として、楽しく長生きをするための体操や、パラリンピック競技である障害者スポーツ体験、食育(野菜で健康になど)など様々なカリキュラムを実施しました。	インストラクター等	5月～8月	14	65歳以上	327		2					○									
見沼	春岡	20	6	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	まめ物語	おいしい手作り味噌の作り方を学びました。	料理研究家	2月	1	成人	7		1					○									
見沼	春岡	20	11	1210	文化・芸術に関する事業	手打ち蕎麦教室	本格的な手打ち蕎麦作りを学びました。	蕎麦打ち教室講師	12月	1	どなたでも	10		1				○	○	○	○							
見沼	春岡	20	14	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	郷土料理 I 太巻き祭りすしに挑戦	郷土に伝わる太巻き祭り寿司の作り方を学びました。	料理研究家・管理栄養士	3月	1	成人	9		1					○									
見沼	春岡	20	24	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「料理教室」	和菓子(アジサイかん・かのこ)作りから料理を楽しく学びました。	料理研究家	8月	1	小学生	10		1					○									
見沼	春岡	20	29	2521	子ども公民館事業	土曜子ども公民館 I	調理実習の代替えとしておかしタワーづくりを実施しました。	春野児童センター 職員	8月	1	小学生	15		1		○												

令和3年度公民館事業報告書

件数total														食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続						
143														←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→											
区	公民館名	館No. (名簿 順)	館内事 業No.	事業種別 コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	総回数 回数	対象	参加延 人数	総視聴・開 覧数	食育 総回数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学齢 期		青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期		
中央	鈴谷	21	-	12	2520	夏休み子ども公民館事業 「①そば打ちにチャレンジ！」	そばの打ち方の体験を通して、 手作りのよさを実感し、食の大切 さを学びました。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5		1			○		○											
中央	鈴谷	21	-	13	2520	夏休み子ども公民館事業 「②そば打ちにチャレンジ！」	そばの打ち方の体験を通して、 手作りのよさを実感し、食の大切 さを学びました。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5		1			○		○											
中央	鈴谷	21	-	33	1800	人権教育・啓発事業 「障害者のための社会参加支援 講座「料理教室」	障害者が料理を楽しむ交流を深 めました。【共催】障害者総合支 援センター	料理教室講師	10月	1	障害のある方 18歳以上	3		1			○								○	○	○	○	○	
中央	大戸	22	-	23	1100	スポーツ・健康・美容に 関する事業 【e公民館】家庭でできる蕎麦打 ち	家庭でできる蕎麦打ちのやり方 について動画で配信しました。	さいたま蕎麦打ち倶楽 部	12月	1	どなたでも		86	1			○			○					○	○	○	○	○	
中央	与野本 町	23	-	15	1000	子育て(家庭教育)支 援事業(託児なし) スマイルママPart3	食育学習事業 離乳食教室(一 緒に楽しく食べる)お子様が喜ぶ レシピ紹介。 【共催】ひなどり保育園	ひなどり保育園栄養士	9月	1	首がすわった ~11ヶ月の 乳児とその保 護者	14		1							○	○								○
中央	上落合	24	-	20	1100	スポーツ・健康・美容に 関する事業 そば打ち教室	そば打ちを体験するとともに、蕎 麦の栄養価や含まれるビタミン などの成分を知り、食品としての 蕎麦を通してバランスの良い食 生活についても学びました	さいたま蕎麦打ち倶楽 部	11月	1	20歳以上の 方	10		1							○					○	○	○	○	○
中央	上落合	24	-	27	1300	伝統文化・地域歴史に 関する事業 朝まんじゅう、屋うどん	与野の食文化である「朝まんじゅ う、屋うどん」作りを体験し、地域 の食文化を学びました	ふるさと与野の生活文 化を楽しむ会	2月	1	18歳以上の 方	8		1			○				○					○	○	○	○	
中央	下落合	25	-	23	3000	男女共同参画推進事 業 男子力Up! 「蕎麦打ちデビュー講座」	男性講師陣による男性対象の調 理講座を通し、作ることを楽しみ ました。	さいたま蕎麦打ち倶楽 部	10月	1	成人男性	6		1			○		○	○						○	○	○	○	○
中央	下落合	25	-	26	1100	スポーツ・健康・美容に 関する事業 和食でおもてなし 「バラのデコ巻きずしと栗蒸し羊 かん」	中央区の花であるバラをモチー フにした巻きずしを作りました。	実技指導者	10月	1	成人	8		1			○		○	○						○	○	○	○	
中央	下落合	25	-	32	1300	伝統文化・地域歴史に 関する事業 味噌づくり講座	栄養豊富な大豆発酵食品「味 噌」の基本配合を学び、味噌づく りを体験しました。	実技指導者	1月	1	成人	15		1					○	○	○						○	○	○	○
桜	田島	26	-	18	2520	夏休み子ども公民館事 業 たじま夏休み子ども広場 「手作りパン教室」Aコース	料理の体験をするとともに、異学 年と交流しました。	パン作り指導者	7月	1	小学生	5		1			○											○		
桜	田島	26	-	19	2520	夏休み子ども公民館事 業 たじま夏休み子ども広場 「手作りパン教室」Bコース	料理の体験をするとともに、異学 年と交流しました。	パン作り指導者	8月	1	小学生	5		1			○											○		
桜	田島	26	-	23	1100	スポーツ・健康・美容に 関する事業 男の料理教室「そば打ちにチャ レンジ」A	そば打ちを体験するとともに蕎 麦の栄養成分などを学び、食生 活について学びました。	そば打ち教室講師	1月	2	20歳以上の 男性	4		1			○	○		○							○	○	○	○
桜	田島	26	-	24	1100	スポーツ・健康・美容に 関する事業 男の料理教室「そば打ちにチャ レンジ」B	そば打ちを体験するとともに蕎 麦の栄養成分などを学び、食生 活について学びました。	そば打ち教室講師	1月	1	20歳以上の 男性	4		1			○	○		○							○	○	○	○
桜	田島	26	-	26	1300	伝統文化・地域歴史に 関する事業 地域理解講座 酒蔵見学	地域の酒造会社を見学しまし た。	酒造店主	10月	1	成人	10		1						○							○	○	○	○
桜	土合	27	-	5	1300	伝統文化・地域歴史に 関する事業 地域理解講座「酒造見学」	地域の酒蔵見学を通し、地域を 知りました	酒造社長	6月	1	成人	13		1							○							○	○	○
桜	土合	27	-	30	1000	子育て(家庭教育)支 援事業(託児なし) クリスマスクッキー作り	クッキーを作り・仲間づくりをし ました	菓子講師・助手	12月	1	小学生とその 保護者	16		1			○										○			
桜	土合	27	-	34	1900	国際理解事業 国際理解講座/スペインの食文 化を学ぼう	外国人講師がパエリア作りを教 えることで外国の食文化を学び ました	スペイン料理シェフ	1月	1	成人	11		1							○							○	○	○

令和3年度公民館事業報告書

件数total												総回数	参加延人数	総視聴・閲覧数	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続		
143												269	4068	991	162	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	視聴・閲覧数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
桜	大久保	28	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室「大げやき学級・前期」	介護予防普及啓発事業で、高齢者の栄養管理や地域の歴史、オリンピックに関すること等を学んだ。	5月～7月	10	65歳以上の方	250		1	○												○	
桜	大久保	28	-	26	2000	消費者教育事業	そば打ち教室	そばの栄養やそば打ちの歴史の学習とそば打ちを体験した。	12月	1	成人	6		1					○						○	○	○	
桜	大久保	28	-	34	2000	消費者教育事業	みそ作り講習会	麹等の食材の学習とみそ作りを体験した。	3月	1	成人	10		1					○					○	○	○	○	
桜	栄和	29	-	5	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業やわらぎ学級	生活全般にわたる知識、レクレーションを図った	11月～1月	7	65歳以上の方	130		1				○									○	
桜	栄和	29	-	14	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	【e公民館】薬膳料理入門	薬膳の基礎知識と簡単なレシピを動画で配信した	10月	1	どなたでも		152	1				○								○	○	
桜	栄和	29	-	19	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育講座「シュトーレンを作ろう」	クリスマスシーズンに合わせ、季節のお菓子作りを行った	12月	1	成人	16		1				○				○	○	○	○	○	○	○
桜	栄和	29	-	21	2520	夏休み子ども公民館事業	サマースクールさかわパン作り教室1	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り体験をした	7月	1	公民館地域在住の小学生	16		1				○								○		
桜	栄和	29	-	22	2520	夏休み子ども公民館事業	サマースクールさかわパン作り教室2	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り体験をした	7月	1	公民館地域在住の小学生	15		1				○								○		
浦和	岸町	31	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	みんなだいすき！おべんとうのおはなし	楽しいお弁当作りのコツを学びました。	2月	1	どなたでも	8		1				○						○	○	○	○	
浦和	領家	32	-	19	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/料理教室	仲間と一緒に料理や食事をする中で、食に対する満足感や楽しさを学びました。	8月	1	小学生3～6年	6		1			○	○							○			
浦和	領家	32	-	20	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	美味しい韓国家庭料理を作ろう①	韓国の家庭料理を学び、韓国の食文化を知りました。	9月	1	どなたでも	5		1			○	○	○						○	○	○	○
浦和	領家	32	-	21	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	美味しい韓国家庭料理を作ろう②	韓国の家庭料理を学び、韓国の食文化を知りました。	9月	1	どなたでも	5		1			○	○	○						○	○	○	○
浦和	浦和南	33	-	32	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	美味しいコーヒーの淹れ方を学ぼう！	コーヒーのおいしい淹れ方を学びました。	2月	1	18歳以上の方	8		1				○							○	○	○	
浦和	上木崎	34	-	11	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業/パパとキッズで…ソーセージをつくってみよう！	小学生とパパでベーコン作りチャレンジしました。	7月	1	小学生と保護者(男性)	16		1				○							○		○	
浦和	上木崎	34	-	28	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/出張工場見学「見る！学ぶ！楽しく！冷凍食品ができるまで」	生活に身近な冷凍食品について、映像や実演を通して楽しく学びました。	8月	1	公民館地域在住の小学生	10		1				○							○			
浦和	上木崎	34	-	34	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	親子でハロウィンのタルトづくり	ねりきりで、ハロウィンにぴったりのタルトを作りました。	9月	1	5歳以上のお子さんと保護者	10		1				○		○					○	○	○	
浦和	上木崎	34	-	36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	薬膳から学ぶ健康	薬膳の知識を学び、食生活や健康への関心を高めました。	11月	1	どなたでも	3		1			○	○	○						○	○	○	
浦和	上木崎	34	-	43	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	手作りの和菓子	ねりきりで、男雛と女雛ひとつの和菓子を作りました。	3月	1	20歳以上の方	11		1				○		○					○	○	○	
浦和	大東	35	-	29	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男の料理教室	男性でも手軽に作れる和食と洋食の料理の作り方を学び料理に興味関心を持ってもらいました。	11月	2	男性の方	11		2				○		○					○	○	○	

令和3年度公民館事業報告書

		件数total				総回数				参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)												
		143				269				4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館No. (名簿番)	館内事業No.	事業種別コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	視聴・閲覧数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続	
浦和	大東	35	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育講座「はじめての薬膳～春の薬膳～」	身近な食材を使った薬膳の基本を学び、食の知識を深めました。	国際中医薬膳師	2月	1	20歳以上の方	6		1			○	○	○				○	○	○	○	
浦和	仲本	36	-	10	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業／父と子のクッキング教室	父と子でクッキングをしながら親子、参加者同士の交流を図りました。	栄養士、助手2名、ファンリ2名	11月	1	小学生と保護者	10	1		○			○			○			○			
浦和	仲本	36	-	18	2110	子育てサロン事業	親と子の居場所 仲本サロン	(子育てサロン)絵本の読み聞かせや保健師・薬剤師・栄養士等のお話。親子のふれあいの場を提供し、参加者同士の交流を図りました。	ボランティア、栄養士、保健師、薬剤師 他	7月～2月※8月無	7	3歳までの乳幼児と保護者	75	1		○	○				○							
浦和	仲本	36	-	21	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／③おなか元気教室	おなかのしくみを楽しみました。	埼玉ヤクルト販売 株式会社	7月	1	小学生	14	1				○				○						
浦和	仲本	36	-	34	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親子料理講座	家庭で手軽にできるスチーム料理を作りました。	栄養士、助手1名	1月	1	小学生とその保護者	10	1		○								○	○	○	○	
浦和	針ヶ谷	37	-	20	2520	夏休み子ども公民館事業	針ヶ谷サマースクール(夏のパン教室 1年～3年)	食事についての興味・関心を促すことができました。	料理講師	8月	1	小学生	8	1	○	○				○	○		○					
浦和	針ヶ谷	37	-	21	2520	夏休み子ども公民館事業	針ヶ谷サマースクール(夏のパン教室 4年～6年)	食事についての興味・関心を促すことができました。	料理講師	8月	1	小学生	7	1	○	○				○	○		○					
浦和	本太	38	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業／コスモス学院・本太(前期)	健やかに生きるための学習と地域の仲間づくりを図りました。	気象予報士、歴史紀行作家 外	6月～9月	9	65歳以上の方	329	1	○	○	○										○	
浦和	本太	38	-	3	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業／コスモス学院・本太(後期)	健やかに生きるための学習と地域の仲間づくりを図りました。また、企業から当館へのオンラインによる講座も実施しました。	フリーアナウンサー、病院職員 外	10月～2月	10	65歳以上の方	438	1				○									○	
浦和	本太	38	-	8	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業／「野菜、果物を摂り、からだの健康づくり」	野菜、果物の特徴、健康効果を学び、親同士の交流を図りました。	日本野菜ソムリエプロ	9月	1	子育て中の方	3	2	○	○	○					○	○	○				
浦和	本太	38	-	29	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	青少年若者向け講座／バレンタイン アイシングクッキーにチャレンジ!	アイシングクッキーを専門家から学び、参加者同士楽しく交流を図りました。	管理栄養士・アイシングクッキー認定講師	2月	1	16歳から39歳までの方	12	1				○					○	○	○			
浦和	仲町	39	-	7	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業／食事の力で子どもの力を引き出そう!	「さいたま市親の学習プログラム」を利用した参加型学習を実施しました。	管理栄養士、親の学習ファンリレーター	6月	1	小学生の保護者	19	1				○					○		○	○		
浦和	北浦和	41	-	32	2500	子ども体験等活動事業	君も減災マスターになろう!	防災・減災のスキルを学ぶ。また、実際に非常食を作って食べ、食について考えました。	ボーイスカウトさいたま第202団	11月	1	小学生とその保護者	30	1			○	○		○			○	○	○	○	○	
浦和	北浦和	41	-	34	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	韓国料理を作ってみよう	家庭で出来る簡単な韓国作り方を学びました。	韓国料理店オーナー	11月	1	どなたでも	10	1				○		○				○	○	○	○	
浦和	南筒	42	-	28	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手打ち蕎麦づくり教室	蕎麦粉から蕎麦に仕上げるまでを学びました。	地域の蕎麦打ち愛好会	12月	1	20歳以上の方	8	1			○	○	○		○			○	○	○	○	
南	文蔵	43	-	13	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業③親子でパン作り	子育て中の親同士が、子育てについて語り合い、学び、親としての成長を支援する講座を実施した。	趣味・実技技能者ファンリレーター	11月	1	小学生とその保護者	16	1				○				○			○	○	○	
南	南浦和	44	-	31	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男性料理教室	男性向けの料理教室を実施した。	料理指導者	3月	1	成人男性	7	1	○			○							○	○	○	
南	南浦和	44	-	34	1020	高齢者支援事業	ふれあい会食	70歳以上、ひとり住まいの方向けの食事会を実施した。	食生活改善推進員	1月～3月	3	70歳以上	32	3			○		○		○							

令和3年度公民館事業報告書

件数total		総回数		参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続									
143		269		4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→														
区	公民館名	館No. (名簿用)	館内事業No.	事業種別 コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	視聴・ 閲覧数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期			
南	南浦和	44	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	【e公民館】元気な家族の食育講座	健康づくりのための料理レシピの紹介	食生活改善推進員	3月	1	どなたでも		22	1	○					○					○	○	○	
南	谷田	45	-	3	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室 さくら塾(前期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりやオリパラ、人権、食育について考える機会を提供した。	レクリエーション指導者、歴史研究者、映像研究者、他	5月～3月	7	65歳以上	28	1	○		○											○	
南	谷田	45	-	4	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室 さくら塾(後期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりや食育について考える機会を提供した。	レクリエーション指導者、歴史研究者、映像研究者、他	9月～11月	9	65歳以上	30	1	○		○											○	
南	六辻	46	-	23	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館⑨「ヨーグルト教室」	ヨーグルトが体内に及ぼす影響等について学びました。	株式会社明治東京支社	8月	1	公民館地域在住の小学生	5	1		○	○						○						
南	六辻	46	-	26	1700	交通安全・防犯教育事業	防災講座「はじめよう！我が家の防災対策」	家庭でできる防災対策と防災食について学びました。	さいたま市職員ヘルスマイト会員	10月	1	成人の方	17	1				○						○	○	○	○		
南	西浦和	47	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	わかば学級Aコース	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つことを学び、地域の仲間作りをしました。食生活に関することを学びました。	趣味・実技指導者 体操指導者 等	7月～2月	7	65歳以上	102	1				○			○							○	
南	西浦和	47	-	2	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	わかば学級Bコース	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つことを学び、地域の仲間作りをしました。食生活に関することを学びました。	趣味・実技指導者 講師等	6月～2月	7	65歳以上	130	3				○		○	○							○	
南	東浦和	49	-	2	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	【介護予防事業】さわやか学級(中期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、食育、人権問題などを学んだ。	教養健康指導者、生活講座講師、音楽家 等	9月～11月	6	65歳以上の方	148	1	○	○	○	○	○	○	○							○	
南	東浦和	49	-	36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	【e公民館】美味しく食べて健康に	講師オリジナルの免疫カアップレシピを公開した。	料理講師(地域在住)	9月	1	どなたでも		90	1				○				○	○	○	○	○	○	
南	善前	50	-	4	1530	介護予防普及啓発事業(ますます元気教室)	ますます元気教室 第1コース	介護予防に資する複合型のプログラムとして、百歳体操の体験・認知症・口腔・栄養等について学んだ。		6月～7月	4	65歳以上	29	1				○										○	
南	善前	50	-	8	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防事業/夏野菜でキムチをつくらう	夏の健康維持を目的に夏野菜を使ったキムチづくりと免疫について学んだ。	みのり会代表	7月	1	65歳以上	7	1				○										○	
緑	大古里	51	-	29	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休みわくわくスクール「クッキーをつくらう！」	様々な形を楽しみながらクッキーを作った。	美術指導者	8月	1	公民館地域在住の小学生	16	1				○						○					
緑	大古里	51	-	31	2520	夏休み子ども公民館事業	親の学習事業「親子で本格イタリアン！」	プロのシェフに簡単でおいしいイタリア料理を学んだ。	イタリア料理店シェフ、親学ファシリテーター	8月	1	公民館地域在住の小学生	13	1				○		○	○			○	○	○			
緑	大古里	51	-	43	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	お正月を彩るおもてなし料理教室	身体によい、お正月のおもてなし料理を作った。	さいたま市食生活改善推進員協議会大古里ふたば会員	12月	1	成人	11	1				○	○		○	○		○	○	○	○	○	
緑	三室	52	-	5	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館料理教室	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動として、料理作り(主食、主菜など)を体験し食育の学習機会を提供した。	三室ヘルスマイト	8月	1	三室地区在住の小学生	12	1	○	○				○		○						○	
緑	尾間木	53	-	17	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男性料理教室	缶詰でできる簡単おつまみ作りを実施しました。	栄養士	1月	1	成人(男性)	11	1	○	○		○							○	○	○		
緑	尾間木	53	-	18	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	アイシングクッキー作り教室	見た目も可愛く、食べてもおいしいアイシングクッキーを作りました。	アイシングクッキー認定講師	12月	1	中学生～39歳までの方	12	1			○	○						○	○				

令和3年度公民館事業報告書

件数total		総回数		参加延人数		総視聴・閲覧数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続									
143		269		4068		991		162		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→														
区	公民館名	館No. (名簿 順)	館内事 業No.	事業種別 コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催 時期	回数	対象	参加延 人数	視聴・ 閲覧数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期			
緑	原山	54	-	13	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	寒さに負けない体を作る薬膳講座	国際中医薬剤師料理研究家	11月	1	どなたでも	11		1						○					○	○	○	○	○
緑	原山	54	-	20	1000	子育て(家庭教育)支援事業(託児なし)	親の学習事業「受験生のための食生活講座」	野菜ソムリエファンリレーター(2名)	9月	1	小・中学生の保護者	3		1	○	○	○	○	○	○		○							
緑	美園	55	-	12	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	オレ★カジ～俺の家事塾×クッキング編～	(株)コンパートワン代表	11月	2	65歳以上	8		1	○	○			○									○	○
緑	美園	55	-	23	2500	子ども体験等活動事業	畑であそぼ！～農×食×親子×Misono～②夏のじゃがいも編	農家	6月	2	幼児・小学生とその保護者	46		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	24	2500	子ども体験等活動事業	畑であそぼ！～農×食×親子×Misono～③秋のさつまいも編	農家	10月	2	幼児・小学生とその保護者	45		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	28	2520	夏休み子ども公民館事業	夏休み子ども公民館(料理教室キーマカレーとナン)	料理研究家	8月	1	小学生	7		1		○	○	○	○			○							
緑	美園	55	-	37	2600	コミュニティづくり・市民活動支援事業	かんたん！美味しい☆おうちパン☆	おうちパンマスター	9月	2	どなたでも	12		2		○	○	○	○						○	○	○	○	○
緑	美園	55	-	38	2600	コミュニティづくり・市民活動支援事業	美園うたカフェ～地域のお茶の間づくり、4年目のいっぽ～	元喫茶店主	4月～3月	8	どなたでも	117		8		○		○								○	○	○	○
岩槻	岩槻本丸	56	-	5	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業「やまぶき学級」	歴史や法律、健康体操など、さまざまな分野について学び、仲間づくりを進めました。	歴史研究家、ファイナンシャルプランナー、気功指導者外	5月～7月	8	65歳以上	140		1			○										○	
岩槻	岩槻本町	57	-	11	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	料理教室「薬膳料理」	料理研究家	10月	1	成人	14		1	○	○	○	○	○							○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	12	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	生活習慣病予防のための料理教室	食生活改善推進員協議会	7月	1	成人	10		1	○	○	○	○	○							○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	13	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	免疫カアップのための料理教室	食生活改善推進員協議会	12月	1	成人	11		1	○	○	○	○	○							○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	18	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	手打ちそばをつくらう	そば打ち学習団体会員	11月	1	成人	6		1		○	○			○						○	○	○	○
岩槻	岩槻南部	58	-	24	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手打ちそば教室	元公民館長	11月	1	市内在住・在勤の方	10		1		○				○					○	○	○	○	
岩槻	岩槻北部	59	-	8	2520	夏休み子ども公民館事業	サマースクールほくぶ4子ども料理教室	料理研究家	8月	1	小学生	8		1		○						○							
岩槻	岩槻北部	59	-	18	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	料理教室	野菜ソムリエ	11月	1	成人の方	8		1		○			○										
岩槻	岩槻北部	59	-	25	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	季節の料理教室	料理研究家	1月	1	成人の方	8		1		○													

令和3年度公民館事業報告書

件数total												参加延人数	総視聴・閲覧数	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続			
143												4068	991	162	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→								
区	公民館名	館No. (名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	事業種別	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	総回数	回数	対象	参加延人数	視聴・閲覧数	食育	さい	いた	たま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
岩槻	岩槻北部	59	36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	お菓子工房	イチゴのロールケーキを作る。	野菜ソムリエ	2月	1	1	成人の方	8		1		○											
岩槻	岩槻城址	60	27	2510	青少年体験活動事業	青少年講座 和菓子作り	和菓子作りを学んだ。	お菓子作り研究家	9月	1	1	概ね～30代の方	10		1		○								○	○		

4 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況

○小学校

【西 区】	・ 植水小学校	・ 栄小学校	・ 宮前小学校	・ 指扇北小学校	
【北 区】	・ 東大成小学校	・ 日進小学校	・ 日進北小学校	・ つばさ小学校	
【大宮区】	・ 大宮小学校	・ 大宮南小学校	・ 大宮北小学校	・ 桜木小学校	
【見沼区】	・ 大砂土東小学校	・ 片柳小学校	・ 春岡小学校	・ 蓮沼小学校	・ 大谷小学校
	・ 東宮下小学校				
【中央区】	・ 与野本町小学校	・ 与野八幡小学校			
【桜 区】	・ 土合小学校	・ 栄和小学校	・ 田島小学校	・ 神田小学校	
【浦和区】	・ 仲本小学校	・ 常盤北小学校			
【南 区】	・ 西浦和小学校	・ 文蔵小学校	・ 沼影小学校	・ 浦和大里小学校	・ 善前小学校
	・ 向小学校				
【緑 区】	・ 三室小学校	・ 尾間木小学校	・ 原山小学校	・ 大門小学校	・ 大牧小学校
	・ 芝原小学校				
【岩槻区】	・ 柏崎小学校	・ 東岩槻小学校	・ 城北小学校	・ 徳力小学校	・ 西原小学校
	・ 城南小学校				


※中学校・特別支援学校の食育取組状況は P42～49

○中学校・特別支援学校

- | | | | | |
|-------|-------------|---------|-------------|---------|
| 【西 区】 | ・馬宮中学校 | ・大宮西中学校 | ・宮前中学校 | ・土屋中学校 |
| 【北 区】 | ・宮原中学校 | ・植竹中学校 | ・泰平中学校 | |
| 【大宮区】 | ・大宮北中学校 | ・三橋中学校 | ・大成中学校 | ・第二東中学校 |
| | ・大宮国際中等教育学校 | | | |
| 【見沼区】 | ・七里中学校 | ・春野中学校 | | |
| 【中央区】 | ・与野東中学校 | ・与野西中学校 | | |
| 【桜 区】 | ・大久保中学校 | | | |
| 【浦和区】 | ・常盤中学校 | ・木崎中学校 | ・浦和中学校 | |
| 【南 区】 | ・岸中学校 | ・内谷中学校 | | |
| 【緑 区】 | ・美園中学校 | ・三室中学校 | ・さくら草特別支援学校 | |
| 【岩槻区】 | ・岩槻中学校 | ・川通中学校 | ・城南中学校 | ・西原中学校 |

※小学校の食育取組状況は P30～41

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
植水小学校 協働 —	図書コラボ 給食 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童 395人	実施日:11月4日、9日、12日、24日、29日 場所:各教室 内容:本に出てくる食べ物を給食で提供し、給食の時間にテレビ放送で給食委員会による献立放送、図書委員会による読み聞かせを行う。	図書と食育が連携することで、本への興味関心・食に関する興味関心を高める機会となった。	児童の希望と、実施できる献立の調整が大変である。	
栄小学校 協働 —	セレクト給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 610人	実施日:2022年1月25日、27日 場所:教室 内容:ジュース3種類から1つ、チキンと魚のフライから1つ食べたいものを選択する。また、給食委員の活動でセレクトの集計を行う。	本校でセレクト給食の実施は初めてだったため、児童の興味関心が大きかった。また、当日の喫食率も良かった。	児童が選択したものを記録しておく必要がある。セレクト給食を楽しみにしていた児童が多かったが、実施した日がコロナ感染症での欠席する児童が多かった(学級閉鎖もあった)ため、実施時期の検討は必要。	
宮前小学校 協働 —	テーブルマナー給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:本校6年生 142人	実施日:令和4年2月8日、9日、15日、18日 場所:宮前小学校第2音楽室 内容:卒業するに当たり食事のマナーを身に付け、社会性を養う。 メニュー:パン、コーンスープ、ハンバーグ、付け合わせ、ロールケーキ、ジュース	・事前にマナーについての小冊子(ナイフとフォークの使い方等)を配布したことにより、当日も確認程度の説明で、スムーズに食事をすることができた。	・感染症対策のため、配膳準備やおかわり等、教員側の負担が大きかった。	
指扇北小学校 協働 —	給食週間の取組 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 775人	実施日:1月24日(月)~1月28日(金) 場所:各教室 内容:栄養や給食メニューに関するクイズや調理員さんへの感謝、インタビュー、給食の片づけの仕方のお願い	調理員さんへの感謝の気持ちを伝えることができた。給食を作っている様子の映像をみたり、調理員さんの思いや願いを知ったりして、食への関心が高まった。	残菜がクラスによって多かったり、給食の片づけ方が徹底されていなかったりする。	
東大成小学校 協働 —	きゆうしよくしゆうしゆう (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 504人	実施日:1月19日(火) 場所:各教室 内容:栄養や給食メニューに関するクイズや調理員さんへの感謝、給食の片づけの仕方のお願い	調理員さんへの感謝の気持ちを伝えることができた。給食を作っている様子の映像をみたり、給食のメニューの工夫を知ったりして、食への関心が高まった。	給食の残量が減らないため、継続して指導していく必要がある。	
東大成小学校 協働 —	65周年記念給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 504人	実施日:10月28日 場所:各教室 内容:我が校のキャラクターの一つである「ポンちゃん」をイラストコロッケにして給食で提供した。給食委員会の児童によるお昼の給食放送にて説明した。	かわいい、食べるのがもったいないなどの感想が多く出たが、実際の喫食状況はほぼ100%だった。		

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物								対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
東大成小学 校	おはなし給 食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 504人	実施日:11月2日・11月19日 場所:各教室 内容:童話の内容に照らし合わせ、給食の献立を作成し、図書委員会の児童が給食時間に読み聞かせを行った。	児童による絵本の貸し出しが多く、給食の喫食状況も良かった。児童から、またやってほしいとの要望も多かった。	司書との打ち合わせをもっと密に計画を実施する。	
東大成小学 校	4年生保健体 育科「体の成 長とわたし」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:4年生 84人	実施日:11月 場所:4年生の教室 内容:栄養士がゲストティーチャーとして、専門家の立場で、体に必要な『栄養』について説明し、食に関わるに人や物への感謝の気持ちを考えさせた。	ワークシートを作成し、その中で感想も記入させ、理解度及び感謝の気持ちが高まった。	継続して授業にかかわることで、給食への興味が高まり、自分の健康への意識付けをしたい。	
東大成小学 校	家庭科 「給食の献立 を考えよう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 教職員 512人	実施日:1月11, 13, 17, 18, 20, 21日 2月2, 3, 17, 18, 20, 21日 3月3, 4, 9, 10, 11, 18日 場所:各教室 内容:6年生による班で考えた献立を3学期の給食に登場させた。	自分たちで実際建てた献立が給食に登場する喜びと喫食する意欲が高まった。他の学年もクラスを聞くことでより旧sy徳への興味が出て、喫食も高まった。	もっと独創的な献立を期待したが、過去の献立からの組み合わせが多く、時間的余裕をもって授業をすべきだった。	
東大成小学 校	給食集会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 504人	実施日:1月25日(火) 場所:各教室 内容:栄養や給食メニューに関するクイズや調理員さんへの感謝、給食の片づけの仕方をお願い	調理員さんへの感謝の気持ちを伝えることができた。給食を作っている様子の映像をみたり、給食のメニューの工夫を知ったりして、食への関心が高まった。	給食の残量が減らないため、継続して指導していく必要がある。	
日進小	考えた考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 833人	実施日:令和4年2~3月の5日間 場所:日進小学校 内容:6年生が家庭科の学習を生かし考案した献立を実際に給食で提供した。給食委員会による献立選挙も行い、1位に選ばれた献立を提供した。	児童が考案した献立を提供することにより、学校全体の関心が集まり、喫食率も高まった。	特になし	
日進北小学 校	給食集会 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 790人	実施日:2022年1月 場所:日進北小学校 各教室 内容:栄養や給食・給食室に関するクイズ、調理員へのインタビュー	給食室の様子を知ることで、食への関心を持ち、調理員への感謝の気持ちが深まった。	限られた時間の中での集会のため、子どもたちにどこまで浸透できているか。継続して毎年実施していきたい。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
日進北小学校	6年生のオリジナル献立 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 790人	実施日:2022年2～3月 場所:日進北小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を給食で提供する。	児童が考えた献立を提供することにより、栄養バランスについて意識をもてるようになった。また、本人たちも、より給食への関心が深まり、他学年も給食に興味を持てた。	特になし	
大宮小学校	家庭科「1食分の献立を考えよう」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:献立→6年生 喫食→全教職員 720人	実施日:令和4年2月10日(木)・16日(水)・28日(月) 場所:大宮小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を提供する。	家庭科の授業を通して、毎日食べている給食がどんな事に気をつけて立てられているのかを学び、大変さが分かったとの声が多かった。また献立が選ばれた児童だけでなくクラスみんなで喜び合っているのが見れてとても良かった。	給食だよりには、お知らせはできなかったが、写真などはホームページにしかあげなかったのので、給食たよりに載せられたらよかった。	栄養士が授業の中で献立の立て方を話した。担任の先生からは、実際に立てている人からの話だと子どもたちもよく話を聞くと言われた。五大栄養素などを振り返りながら献立作成について学んだ。みんなよく話を聞いてくれた。実際の給食提供日は、そのクラスに行き、感想などを聞いた。みんなとてもよく食べてくれた。
大宮南小学校	6年生オリジナル献立(家庭科) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童・職員 930人×3回	実施日:2022年2月16日(水)、2022年2月17日(木)、 2022年2月18日(金) 場所:本校 内容:給食1食分の献立を考える(講義・演習)	家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになった。また、6年生の考えた給食を食べた下級生にとっても、給食に対する興味・関心が高まった。食物アレルギーに配慮しつつ、各クラスから和洋中それぞれ1食ずつを提供した。	食数が増えたことにより、手作りのもの(コロッケの形成等)が難しく、給食として提供できる献立に限りがあった。	
大宮北小学校	行事・郷土食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全校児童 全教職員 330人	実施日:毎月1回以上 場所:本校 内容:主な行事に合った食事や、都道府県の食事を給食を通して知る。	さまざまな郷土の特色ある食事に触れたり、伝統的な食事をすることで、日本には様々な食事があることを知ることができた。	なかなか食べられない食事も多かったので、食わず嫌いになることもあった。	
大宮北小学校	6年生リクエスト給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童 全教職員 330人	実施日:2022年1、2月 場所:本校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する。	6年生が家庭科の学習を通して、全児童が食べることを考慮し、テーマ、栄養バランス、彩り、盛り付け等を考えることで、食に対する意識が高まった。また、6年生がたてた献立ということもあり、食品ロスについても意識していた。	盛り付け表に表記するだけでなく、6年生が提案した献立ということを、さらに浸透させてもよかった。	
桜木小学校	スマイルランチ (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童 全教職員 510人	実施日:感染症防止のため、未実施 場所:教室 内容:縦割りで給食を食べる	未実施のため未評価	コロナ禍で安全に縦割り給食を実施することの難しさがあった。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
桜木小学校 協働 —	皮むき体験 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:1年生 81人	実施日:感染症防止のため、未実施 場所:教室 内容:給食で使用する食材の皮むき	未実施のため未評価	コロナ禍で安全に配慮し、食材を扱うことに難しさがあった。	
大砂土東小学校 協働 —	野菜の皮むき体験 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: ①特学 ②2年生 特学 定員: ①20人 ②220人	日程:①2021年4月 ②2021年7月 場所:大砂土東小学校 各教室 内容:①グリーンピースのさやむき ②とうもろこしの皮むき	食材について興味・関心が高まった。 食べられる状態にするまでの大変さを知ることができた。	コロナのため蜜を避け、作業できるよう工夫が必要。	グリーンピースのさやむきは、特学のみで実施。とうもろこしの皮むきは、コロナ禍でたくさんの皮むき作業をすることはできなかったが、一人1本の作業を丁寧にいき、観察力を付けることができた。写真をたくさん撮って掲示したことが良かった。
大砂土東小学校 協働 —	図書コラボ給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童 1260人	実施日:2021年10月 場所:各教室 内容:読書週間に合わせて、物語に出てくる料理を給食で再現する。図書委員の児童が集会でPRする。	給食と図書のコラボにより、喫食率と本の貸し出し率の増加につながった。	食べたいものが出てくる本を探ることが主となってしまった。	どんな給食がでるのか楽しみにする児童の様子が見られ、残菜が少なくてとても好評だった。
片柳小 協働 —	なかよし給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 510人	実施日:年2回(6月、11月)※本年度は中止 場所:教室 内容:給食を異学年と食べ、一緒に楽しく食べることで交流を図る。	本年度中止		
春岡小学校 協働 —	夢の献立(6年生献立家庭科) (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童・職員 1115人×5回	実施日:(給食提供日):2022年3月1日、2022年3月3日、2022年3月4日、2022年3月16日、2022年3月17日 場所:本校 内容:給食1食分の献立を考える(講義・演習)	・家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになった。 ・全校配布の給食指導お便りで、給食への関心を高め、学校HPにて給食を紹介することで地域への取り組みを周知できた。	5年生の時点で家庭科の授業の参加し、下地を作った上で、事前に教員への提案をすることで、献立内容の確認ができる。準備不足だ場合によっては、献立内容や食材の変更が必要となる。	
春岡小学校 協働 —	行事食・郷土料理・諸外国の料理 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童・職員 1115人	実施日:毎月3回以上 場所:本校 内容:季節の行事食や、都道府県の食事、諸外国の食文化を給食を通して知る。	四季折々の行事食、伝統的な食事や郷土料理、諸外国の料理を食べることで、日本や外国には様々な食事があることを知ることができ、給食標語にも児童が「外国の、味が知れるよ、給食で」と書くほど浸透できてきた。	家庭では食べたことがない食材を使用したり、味付けがあり、食べず嫌いのような児童も一定数います。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)			成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題										
春岡小学校	給食週間にかかわる事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 1056人	実施日:2022年1月 場所:教室 内容:給食委員会児童による動画放送。 ・給食標語を募集し、クラス代表の作品を掲示。 ・食育推進ポスターを作成し、掲示。 ・主食もりもりキャンペーンにて全校で残食チェック。 ・栄養士による「給食ができるまで」動画放送。	給食に関心をもち、感謝の心や食事の大切さ、SDGsを結びつけることで、学習内容も充実した。	1月3週目の行事のため、準備期間が短かった。次年度は2学期半ばより準備をする。		
春岡小学校	学校農園(かがやき学級)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:かがやき学級児童 18人	実施日:2021年4月から2022年3月 場所:かがやき学級前の学校農園 内容:さやいんげん、かぶ、にんじん、キャベツ、ピーマン、ナス	自分たちで野菜を育てることで食の関心をもち、給食への関心を深める。	作付け面積が狭いため、少量しか収穫ができない。児童が増えた場合は、場所を考えなければいけない。		
蓮沼小学校	給食集会・屋のテレビ放送	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:1~6年生 764人	実施日:令和4年2月17日~28日 場所:各教室 内容:給食委員会の発表	オリパラ給食と関連付けて世界と我が国の給食を比べ、私たちの給食のよさを伝えることを通して、より食への関心を高めることができた。	コロナ対応で予定通り動画を作ることができず延期した。		
大谷小学校	給食朝会・屋のテレビ放送	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:1~6年生 1216人	実施日:2022年1月19日(水)・27日(水)・2月22日(火) 場所:各教室 内容:給食クイズ、栄養士へのインタビュー、好きな給食アンケート結果発表、調理員へのお礼の手紙贈呈、リクエスト献立の入選者発表、給食調理の様子、栄養をテーマとした劇	給食について興味、関心をもち、少しでも食べようという意欲を高めることができた。 食べ残しが多い料理と少ない料理を伝えることで、児童と教職員へ嗜好状況を周知し、指導の強化につなげることができた。	食事の姿勢やはしの持ち方、食事マナー・偏食などに課題が見られる。家庭とも連携し、今後も継続して指導していきたい。	給食委員会で給食に関するクイズや食べ残しを少なくするポスターを各学年に配布し、食べ残しが少しずつ減ってきた。 リクエスト給食では苦手の野菜も食べ残しをしないように食べる様子が見られた。	
東宮下小学校	ドリームランチ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象: 全児童147人	実施日:1月7日(応募用紙提出×切) 1月11~13日(投票期間) 1月18日(結果発表) 3月17日(給食提供) 場所:各教室 内容:各児童が考えた給食を「ドリームランチ」として提出する。各学年の代表を掲示し、投票する。選出されたものが実際の給食として提供される。	受動的に提供された給食を食べている児童にとって、栄養バランスや彩り、好みや味など献立を考える楽しさや大変さを知る良い機会となった。高学年は家庭科での学習と連携することで、栄養バランスの良い食事についての理解が深まった。選出された給食が提供されるのを楽しみにしている児童の様子が見られた。	献立を冬休みの課題として考えてくる児童も多く、最終的に選ばれたメニューを給食週間中に行われる給食朝会で発表するため、応募用紙の提出から投票、結果発表のスケジュールが立て込んでいた。見通しをもって、できる準備を先に進めておくようにした。	・赤・黄・緑の食品をバランスよく取り入れたメニューにするためには、どうしたらよいかと悩みながらメニューを考える様子が見られた。 ・自分の考えた献立を、学年の代表として掲示されることを楽しみにしている様子が見られた。 ・掲示された代表作品を興味深そうに眺め、どれを選ぼうか見比べる児童の様子が見られた。	
東宮下小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象: 147人	実施日:1月17日~21日 場所:各教室 内容:昔の給食、世界の給食、セレクト給食の実施 給食朝会(給食室探検の様子、感謝状と手紙の贈呈、調理員さんからのメッセージ、給食標語・ドリームランチの結果発表)	・昔の給食や世界の給食など幅広い食文化に触れるよい機会となった。 ・日頃の感謝を伝え、調理員さんと交流する機会となった。 ・給食室の様子を臨場感をもって感じたり、調理員さんへの感謝を伝えたりすることで給食への興味・関心を高める機会となった。	コロナ感染症対策のため、テレビ放送での朝会となったので、各学級の児童の反応を把握しづらかった。	・昔の給食や世界の給食を楽しみに献立表を見ている児童の様子が見られた。 ・学年ごとに「好きな給食」や「食べてみたい都道府県や国の料理」、「1~6年生の間で食べられるようになったもの」などのテーマと日頃の感謝を伝える手紙を丁寧に書くこととする様子が見られた。 ・健康委員会の児童が、準備から撮影本番まで協力して取り組んでいた。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など					
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ				実績 (令和3年度)			成果	課題			
三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題						
与野本町小 協働 —	給食週間～ 絵本の料理 を楽しもう～ (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童、職 員 580人	実施日:令和4年1月24日(月)～1月28日(金) 場所:各教室 内容:絵本に登場する料理を給食のメニューで紹介し、本もあらずじやシリーズなどを紹介した。給食委員と図書委員でコラボして実施した。(掲示や放送にも工夫を凝らした)	給食への興味関心が高まった。それとともに該当する絵本の貸し出しが増えた。	読み聞かせもしたが時間がなかったという担任の声も多かった。	
与野八幡小 協働 —	おはなし給 食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童	実施日:令和3年10月 場所:各教室 内容:10月に3回、絵本に関連した料理を提供し、食べ物や料理への興味関心を高めた。 ・『ひみつのカレーライス』(10月4日) ・『ほしじいたけ ほしばあたけ』(10月5日) ・『ルルとララのエッグタルト』(10月27日)	・給食日より、給食室前の掲示物によって告知をしていたため、子どもたちは当日の給食を楽しみにしていた。 ・おはなし給食の題材にした絵本が、図書室で借りられる回数が増えた。 ・保護者から、親子で給食の話題をするきっかけができたという声ももらった。	図書委員会、給食委員会との連携を強化して、児童と一緒に盛り上げていきたい。	
与野八幡小 協働 —	世界の料理 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童	日程:令和4年1月31日～2月4日(本校の給食週間に合わせて1週間) 場所:与野八幡小学校 内容:他国に親しみをもち、異文化を尊重する気持ちを養うため、外国の料理を給食に取り入れる。 ・月曜日にシェフ給食を実施した。 ・火曜日～金曜日は、全校児童対象に「食べてみたい世界の料理アンケート」として、1～4位の国の料理を給食室で作って提供した。	・児童は、シェフの話をよく聞き、シェフが作ったフランス料理給食を楽しんで食べていた。 ・給食日より、給食室前の掲示物によって、フランスや、世界の国の料理について紹介したところ、給食週間の給食を楽しみにしている様子が伺えた。	G・S専科の先生と協同するなど、給食以外の分野でも他国への理解を深める週間として動けると、より指導の効果が高まると思った。 他国の料理の再現性とバリエーションを高めらるよう、栄養士としてさらなる努力が必要。	
栄和小学校 協働 —	児童が考えた給食の提供 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童・教職員 実施回数:6回 参加者数:1050人	実施日:2022年 2/4 2/8 2/16 2/22 3/1 3/11 場所:栄和小学校 内容:家庭科の授業で考えた献立を給食で提供する	6年生が考えた献立を提供することにより、同学年では食に対する理解が深まり、低・中学年では家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童の思いを忠実に献立に反映させることと調理作業や価格とのバランスが課題である。	
田島小学校 協働 —	田島小学校 揚げパン・カレー・スパゲティ総選挙 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 499人	全校児童へのアンケート実施日:令和3年5月 アンケートにより人気があったメニュー(上位5位まで)を給食において実施する日:令和3年9月より 内容:「田島小学校 揚げパン・カレー・スパゲティ総選挙」 揚げパン・カレー・スパゲティは、給食で特に人気があるメニューである。栄養士が選んだ味ではなく、児童が選んだ食べたい味を提供したいと考え、全校児童へアンケートを実施し、上位1位から5位までを2・3学期の給食で提供した。 新型コロナウイルスにより、児童達は様々な影響を受けている。そんな中、令和3年度は、「心を元気にする給食」の提供を目標とした。児童の心と体が元気になる楽しみな給食が提供出来るよう、安全に実施可能な給食イベントを多数企画し、実施した。少しでも、給食の時間を楽しく感じてほしい。美味しい給食を作り、しっかり食べてもらい、毎日元気に学校に通学してほしい。そう願い、出来ることを全てやりきった。全ては田島小学校児童全員の笑顔のために!!	自分たちが選んだ味・人気の味が給食で出ること、興味・関心が非常に高く、楽しみであるという声が多く聞かれた。残食も少なく、「心と体が元気になる楽しみな給食」を実現出来た。	好評であったので、次年度以降も継続し、さらに新たな取り組みをすることで、より一層の給食への興味・関心を高める必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など																										
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)			成果	課題																											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題																																
田島小学校	田島小学校 開校47周年 お祝い給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳-	対象:全校児童 499人	実施日:令和3年7月12日(月) 内容:「田島小学校開校47周年お祝い給食」 ちらし寿司・照り焼きチキン(令和2年度に実施したシェフ給食のレシピそのまま)・田島小47周年お祝い汁・田島小47周年お祝い2色だんご・緑茶 7月12日は、田島小学校の開校記念日です。今年で47周年を迎えます。最近では、開校記念日も通常通り学校があり、お休みではないので、その意味を忘れてしまいがちです。そこで、緒方校長がこの日のために考えた、美味しく、色合いがよく、楽しみになる特別な献立をみんなで食べて、田島小学校の開校記念日をお祝いすることとしました。田島小学校児童全員が食べられる内容となっている。暑くて食欲が落ちてしまいがちですが、味わって残さずに食べてもらえた。栄養士は、校長先生と打ち合わせを重ね、校長先生と共に献立を決定した。安全に実施可能な全ての組み立てをした。	校長先生が考えたメニューが給食で出るということ で、興味・関心が非常に高く、楽しみであるという声が多く聞かれた。校長先生に直接感想を伝える児童も多く、肯定的な意見を多数いただいた。「田島小お誕生日おめでとう。毎日がお誕生日ならいいな。」という意見が印象的でした。残食も少なく、「心と体が元気になる楽しい給食」を実現出来た。	好評であったので、次年度以降も継続し、さらに新たな取り組みをすることで、より一層の給食への興味・関心を高める必要がある。	協働 —	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
田島小学校 PTA	東北復興支援わかめ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳-	対象:全校児童 499人	実施日:令和3年7月8日(木)・令和3年7月14日(水) 内容:「東北復興支援わかめ給食」 令和3年7月8日(木):麦ごはん・エビと豆腐のチリソース・三陸わかめサラダ・ヨーグルト・牛乳 令和3年7月14日(水):枝豆ごはん・モウカザメのカレー竜揚げ・三陸わかめと野菜たっぷり味噌汁・冷凍みかん・牛乳 この企画は、田島小学校PTAさんとの共同企画です。両日に使用したわかめは、宮城県三陸沖で水揚げされた、美味しいわかめです。PTA本部役員の皆様が手配をしてくださりました。肉厚で、シャキシャキとした食感で、ゆでると緑あざやかな大変美味しいわかめでした。みんなで美味しく食べて、東北の復興支援につながればと願い、PTAさんと企画・実施いたしました。2日間でサラダと汁物2種類を出しました。	両日共に児童に好評で、「わかめが美味しかった!!」と感想をいただきました。三陸のわかめは、肉厚で緑がこく、ゆでるとさらにこくなり、香りもよく、とても美味しいでした。調理員さんも、包丁で切った際の「ざく、ざく。」というわかめの弾力を感じながら、丁寧に下処理をしてくださいました。みんなで給食を食べ、「わかめ」という食材をとおして、東北について考え、東北復興支援につながればと思います。	好評であったので、次年度以降も継続し、さらに新たな取り組みをすることで、より一層の給食への興味・関心を高める必要がある。	協働 ○	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
田島小学校	夢の給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳-	対象:全校児童 499人	実施日:令和4年2月 内容:「夢の給食」 「夢の給食」とは、全校児童が「食べてみたいいな こんな給食」をテーマに、給食の献立を考え、その絵を描き、綺麗に色塗りをした作品です。その中で代表として6年生の作品を実際に2月の給食で出します。2月の給食は、6年生のリクエストを出来る限り取り入れました。以下の内容は、給食だよりに掲載した内容です。6年生の皆さんは、田島小学校で食べる給食はあと30回程度です。給食室一同、1回1回を大切に、安心・安全そして、美味しく作りあげます。そして、給食の時間が少しでも楽しくなるように、給食室一同が心をよせ、力出し合い、全力で毎回給食提供します。卒業後も、思い出に残る給食のため、給食室一同日々頑張ります!! コロナ禍を考えると、今一番大切なのが、児童の心に寄り添い、少しでも楽しみに感じてもらえる時間を提供することと考えます。全ては田島小児童のために。児童が笑顔になる給食時間を作ります。	令和4年2月は、新型コロナウイルスによる学級閉鎖・学年閉鎖があり、全児童がそろわない日も少なくなかった。そんな中、学校に来た児童に、美味しい給食を食べたいというお母いのもと、給食室一同力を合わせ、毎日給食を安全に・時間通りに提供することが出来た。当たり前のことが、当たり前に出来ない状況の中、給食を提供できることが最大の喜びとなった。児童からの声も、励みになった。	好評であったので、次年度以降も継続し、さらに新たな取り組みをすることで、より一層の給食への興味・関心を高める必要がある。	協働 —	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
神田小学校 協働—	夏休み親子料理コンテスト (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象: 全児童385人	実施日:8月 場所:各家庭 内容:夏休みの宿題として、各家庭で1食分の献立を考え、親子で料理をする。2学期以降の給食の献立として提供する。	1食分の献立を考えることで、食事への興味・関心が高まり、栄養のバランスや旬の食材について考える機会になった。また、実際に給食として提供することで、全体の食への関心が高まった。		
仲本小学校 協働—	食事のマナー教室 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象: 第4学年149人 料理クラブ25人	実施日: 2022.1.20(木)、21(金)、25(火)(第4学年) 2022.1.17(月)(料理クラブ) 場所:仲本小学校 各教室(第4学年)、家庭科室(料理クラブ) 内容:食事のマナーについての授業、DVD鑑賞。	・食事のマナーの大切さを伝えることができた。 ・和食、洋食の食べ方の違いを楽しみながら学ぶことで、家庭においてもマナーについての関心や意識付けをする機会となった。	・マナーについての日々の継続的指導を行っていく必要がある。 ・食文化の面をさらに伝えられると良い。	児童の感想(アンケートより) ・食事のマナーを知ることができた。 ・マナーを意識して給食を食べるように気を付けていきたい。
仲本小学校 協働—	児童が考えた給食の提供 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象:全校児童、 学校職員 950人	実施日:令和3年12月6日(月)、7日(火)、9日(木)、10日(金) 場所:仲本小学校 内容:6年生が家庭科「こんだてを工夫して」の授業で考えた献立を提供。	各クラスの優秀献立が12月の給食に出ることを伝え、児童の学習に対する意欲を高めることができた。また、下級生は「自分たちも6年生になったらスペシャル献立を考えるんだ!」と、毎日の献立を楽しみにしているようであった。	児童が全て考えるため、価格、アレルギー対応などで課題がある。また、良い献立を考えた児童がいても、給食室の規模や施設面を考えると断念することもあるのが少し残念である。	
常盤北小学校 協働—	給食集会 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象:1~6年生	実施日:令和4年1月 場所:校内 内容: ・各学年給食や食に関する作品づくり(標語、カルタ、絵など) ・給食委員会による給食ビデオ ・給食調理員との交流(配膳時間) ・給食朝会	・全校児童が給食や食に関する作品づくりを行い、給食や食に対する関心を高めた。 ・給食委員会児童によるビデオ放送での発表を行い、左記の目標の内容に対して知らせた。 ・給食ビデオを通して、学校給食への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、一部内容を変更した。来年度も情勢を見つつ、実施の検討が必要。	全校児童が給食週間の作品づくりを行い、全校児童分の作品を掲示した。
文蔵小学校 協働—	皮むき体験 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象: 1年(126人) 2年(104人) 3年(102人)	実施日:グリンピース(2021年5月10日)、そら豆(2021年5月24日)、とうもろこし(2021年7月12日) 場所:各学年教室 内容:旬の野菜のさやむき・皮むき体験 むいた野菜を給食で食べる	・食材にふれる機会があることで、野菜への興味・関心が高まった。 ・苦手な野菜も、自分でむいたことによって食べてみよう、という気持ちをもつ児童がいた。 ・「旬」についての理解が深まった。	・年によって旬の差が大きいため、八百屋さんや連絡をとり、実施日を十分に検討しなければならない。 ・手洗いや手指消毒、健康観察、机を向かい合わせにしない等、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じる必要がある。	
文蔵小学校 協働—	6年生オリジナル献立(家庭科) (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0-5歳 ○	学齢期6-15歳 ○	青年期16-24歳 ○	成人期25-39歳 ○	壮年期40-64歳 ○	高齢期65歳+ ○	対象:全児童・職員 740人×4回	実施日(給食提供日):2022年3月8日、2022年3月11日、2022年3月17日、2022年3月18日 場所:本校 内容:給食1食分の献立を考える(講義・演習)	・家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになった。 ・6年生の考えた給食を食べた下級生にとっても、給食に対する興味・関心が高まった。	食物アレルギーや価格との兼ね合いが難しいため、児童が献立を考える時間に授業へ参加し、献立内容の確認をすることが望ましい。場合によっては、献立内容や食材の変更が必要となる。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題								
三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題						
沼影小学校 協働 —	おはなし給食 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:本校児童 実施回数:6回 参加者: 1130人(職員含)	実施日:2021年10月中の4日間 場所:沼影小学校 内容:学校図書館にある本に出てくる料理や食材を使った献立を実施した。	・実施日の平均残食率:4.14% ・10月の図書貸出数:2857冊 ・おはなし給食の題材にした本を読みに来る児童が増加した。	・全員が食べられるようにアレルギー等に配慮した料理やレシピを考えることが難しい。	・図書集では、おはなし給食の題材にした絵本の児童による読み聞かせや、おはなし給食の宣伝、紹介などを行った。 ・当日の給食の関心を高めるため、献立表、盛り付け表でおはなし給食の紹介をした。
浦和大里小学校 協働 —	児童が考えた給食の提供 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童・ 教職員 990人	実施日:2022年2月8日、10日、16日、28日 場所:浦和大里小学校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する	6年生児童が栄養価・旬・彩り・食べる人のこと等を考えながら立てることができた。他の学年も6年生が考えた献立ということで喜んでよく食べていた。	掲示や放送で献立のアピールをしたが、ビデオ放送等を活用し、献立を立てた児童に献立作成の意図やポイントを説明してもらうなどすると、より効果的だと考える。	6年生の児童は、自分の献立が選ばれるように一生懸命取り組んでいた。下級生も6年生の献立を楽しみにしていた。
善前小学校 協働 —	シェフ給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 620人	実施日:2022年1月18日 場所:教室 内容:シェフが調理した中国料理を食べた料理に合わせて、学級の入口に春節をイメージした飾りをつけたウェルカムボードを作成した歓迎の会を朝のテレビ放送で行った給食後、感謝の会を行い、後日テレビ放送を行った	シェフが献立を考え、調理してくれたことで嫌いなものでも一口食べてみようとする児童がいた。中国料理や食材に興味をもつ児童がいた。	感謝の会などスムーズにできなかった部分があるので、役割分担などを行い、スムーズにできるように計画を立てる。	
善前小学校 協働 —	給食週間 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 620人	実施日:2022年1月17日～1月22日 場所:善前小学校 内容:学年ごとに給食標語や給食かるたの作成 栄養士、調理員さんへ感謝の手紙の贈呈 「感染症予防をして給食を食べよう」をテーマに、給食員によるテレビ放送	・給食標語や給食かるたを作成したこと、地元の食材を知ったり、栄養について考えたりすることができた。 ・給食を作ってくれる方々に日頃の感謝の気持ちを伝えることができた。 ・劇で感染症予防の仕方を全校に伝えることができた。	感染症予防の徹底をさらに図っていきたい。	
向小学校 協働 —	児童の考えた給食の提供 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 521人	実施日:2022年1月 場所:各教室 内容:6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、大切な人に食べさせたい給食を考える。各クラスより献立を選び給食で提供する。選ばれた児童は、給食放送で自分が考えた献立の説明を行う。	・給食の献立を考えることで、献立を作る大変さや、食べる人の気持ち、栄養バランスなどについての理解を深めることができた。	児童全員の献立を掲示したが、発表の場をもっと持たせればよかった。	
三室小学校 協働 —	本とのコラボ給食 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童	実施日:2021年10月 場所:各教室 内容:絵本に出てくる食べ物を再現して給食に取り入れた。「給食番長」からチキンカレー 10月12日「うどんのうーやん」からわかめうどん 10月13日「ポテむらのコロックまつり」からポテトコロック 10月20日「洪沢菜」から味噌汁海苔・肉じゃが 10月27日「恋するパティンエール」夜のきせきからパンキンプリン 10月28日 など全6回実施	お昼の放送で献立とともに本を紹介したことで、食と本の両方に興味を持つ児童が増えた。	献立の写真と本と一緒に一定期間展示すればよかった。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
尾間木小学 校	児童が考えた給食の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:学校給食センター提供校の児童・教職員 2380人	実施日:令和4年2月、3月 場所:学校給食センター、尾間木小学校、三橋小学校 内容:家庭科の授業で児童が考えた献立を給食で実施する。	6年生が考えた献立を提供することにより、給食への関心や理解が深まる。1～5年生の児童は、家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童が考えた献立の、調理作業・アレルギー対応・価格等を考慮して、実現できる内容にしていくことが難しい。	
協働 —	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
原山小学 校	児童のおすすめ献立給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童・職員 775人	実施日(給食提供日):2022年1月31日、2022年2月1日、2022年2月2日、2022年2月4日、2022年2月7日、2022年2月8日、2022年2月9日、2022年2月10日 内容:5・6年生の家庭科の学習と連携を図り、バランスのとれたおすすめ献立を考案。各クラス1名選出し、実際の給食にて提供。また、選出された児童は、そのメニューについて給食の時間にテレビ放送で説明をした。	給食の献立を考えるという目的意識をもち、進んで学習に取り組むことができ、栄養バランスについての理解を深めることができた。		
協働 —	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—					
大門小学 校	6年生が考えた献立(家庭科)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童・職員 670人×6回	実施日(給食提供日):2022年2月4日、2022年2月18日、2022年2月28日、2022年3月8日、2022年3月15日、2022年3月18日 場所:本校 内容:給食1食分の献立を考える(授業・演習)	・家庭科の学習を生かして実践する機会があったことで、より実生活につながる学びになり、給食の献立にも興味をもってくれるようになった。 ・6年生の考えた給食を食べた下級生にとっても、給食に対する興味・関心が高まった。	・献立を作成する時期と実際に給食を提供する時期が違うので作成する時によく説明しておくことが必要。 ・アレルギー食材が多く使われることがないように伝えておくことも重要である。	
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—					
大牧小学 校	郷土料理の日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童 535人 年8回	実施日:食育の日(毎月19日) 場所:各教室 内容:各県の郷土料理を提供 プリント配付(県の特徴、特産品、郷土料理など)	各県の特産品や食文化を紹介することで、食への興味関心が高まった。各地の食文化を知ることができた。	全国各地の料理を実施したいが、施設設備、人員により、提供する料理に制約がある。	
協働										○		○	○	○										
大牧小学 校	児童の考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童 535人 年1回	実施日:3月 場所:各教室 内容:5・6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、5年生が夢のみそ汁、6年生が夢の給食を考えた。学年1点の代表作品を3月の給食で提供。	家庭科の学習と連携して、献立をたてることで、栄養のバランスの良い食事について理解が深まった。実際に給食に出るということは、児童にとって魅力的で生き生きと学習に取り組んでいた。各クラスの代表作品を掲示したところ、他学年児童から「おいしそう」「楽しんだ」などの声があった。		
協働		○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	—	—	—					
芝原小学 校	本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象:全児童 785人 2回	実施日:10月22日(金)、11月25日(木) 内容:本に出てくる給食を再現し、給食の時間にテレビ放送で本の読み聞かせを行った。10月22日:『きのこのスパゲッティ』(ふなやぎ やすこ作)、11月25日:『ぎょうれつのできるすずぶやさん』(ふくざわ ゆみこ作)	本に出てくる料理を実際に目で見て、味わうことにより、食と読書への関心が高まった。	事前に教室に「ランチタイムしばはら」(お知らせ)を配付して、本の内容等を伝えておくこと、各学級での指導をより効果的に行うことができる。	
協働 —	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など			
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題				
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容					
美園北小学校	郷土料理	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童 775人	実施日:毎月1~2回 場所:美園北小学校 内容:日本各地の郷土料理を提供する	全国各地の郷土料理を食べ、その地域について知ることができる。	献立すべてをその地域の郷土料理にすることが難しい。	
協働		—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—						
東岩槻小学校	6年生献立の実施	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 184人	実施日:3月8日、3月15日 場所:教室 内容:家庭科の授業で6年生の児童が作成した献立の中から、バランスの良い献立を選び、6年生オリジナル献立として実施する。	・6年生は低学年も食べられるような内容を考えて、献立を作成していた。低学年に対して、思いやりの気持ちを育むことができた。 ・他学年は6年生に対して、感謝の気持ちを持つことができた。	・コロナ禍であったため、6年生一人ひとりが献立を作成した後にグループ学習ができなかった。	6年生オリジナル献立についてを記載したバクバクだよりを作成し、ワゴンに乗せて各学級に周知した。また、この取組について、給食委員による校内放送を行い、周知した。
協働	(継続)	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—						
城北小学校	本とのコラボ給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 718人	実施日:11月1日(月)、12月20日(月) 場所:城北小学校 内容:学校図書館にある本に出てくる料理を給食に取り入れて実施した。 「こまったさん・わかったさん給食」(11月1日) (スパゲッティボロネーゼ、グリーンサラダ、シュークリーム) 「おしりたんていカレーなるげけん給食」(12月20日)	給食と図書のコラボにより、給食と図書に興味をもつ児童が増えた。	給食委員会や図書委員会による宣伝があるとより関心を高めることができたと考えられる。	
協働	(新規)	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—						
徳力小学校	児童が考えた給食の提供	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童、 教職員 230人	実施日:2022年2月 場所:徳力小学校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する。	栄養バランスを考慮しながら、給食の献立を考える目的意識をもち、意欲的に取り組むことができた。また、給食の時間の放送を活用することで、全校児童の「食」への意識・関心を高めることができた。また、給食だけで家庭にも情報提供を行った。	児童が考えた献立を、作業工程・価格・アレルギー等を考慮しながらの献立実施になるので、どこまで再現できるかは検討が必要である。	
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—						
徳力小学校	給食週間に 関する取り組み	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童、 教職員 230人	実施日:2022年1月 場所:徳力小学校 内容:健康委員会を中心に、栄養士や調理員へのインタビュー、食に関するクイズを動画視聴により行う。	給食に関心をもち、感謝の心や、食事の大切さについて知ることができた。	給食週間の準備が冬季休業期間を挟むため、準備期間等を計画的に進める必要がある。	
協働	(新規)	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—						
西原小学校	6年生献立の実施	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境	農林漁業 行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 612人	実施日:2月17日、2月18日、2月21日 場所:教室 内容:家庭科の授業で6年生の児童が作成した献立の中から、バランスの良い献立を選び、6年生献立として実施する。	・6年生は低学年も食べられるような内容を考えて、献立を作成していた。低学年に対して、思いやりの気持ちを育むことができた。 ・他学年は6年生に対して、感謝の気持ちを持つことができた。		
協働	(新規)	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など	
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題		
		三食 しっかり	いっしょ 楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳-	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
城南小学校 協働 —	給食試食会 (継続)	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	朝食 生活	対象:1・2年生保 護者	実施日:令和3年10月15日(金) 場所:6年生教室 内容:児童の給食の配膳の様子を見学し、6年生の教室で給食を食べる。栄養教諭より、学校における食育の話をし、学校と家庭との連携を図る。感想等のアンケートを取り、今後の給食運営に活かす。	昨年度はコロナの影響で試食会を行う事が出来なかったため、今年度は2学年を対象に行った。給食室の様子や、食育の取り組みについて保護者に話すことにより、給食への理解が深まった。また、児童の給食の様子を見ることができて良かったという、保護者からの意見を得られた。	保護者の方の参加率について、仕事の関係で参加できない保護者の方も多く、全員の保護者の方に、学校での食育の取り組みについて、話すことが難しい。 参加率を上げることができるよう、次年度は工夫を行いたいと思います。		

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など				
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容			成果	課題										
馬宮中学校 協働 —	食を通じた郷土への理解を深める (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒 410人	実施日:令和3年4月から3月の食育の日 場所:各教室 内容:毎月19日の「食育の日」に、日本や世界の郷土料理を取り入れる。学校行事や旬と関連づけ、地場産物を積極的に利用する。	割合として50%新献立を実施することができた。オリンピック実施と関連づけ、世界の料理や日本の郷土料理を多く取り入れ、新しい献立や料理を食べることで、食への興味関心、地域への理解を深めることができた。	珍しい食材を使用することで、給食単価が高くなってしまったこと。食べなれていない食材や料理を取り入れることで、喫食率が下がってしまったことが課題となった。味付け等工夫していきたい。	
大宮西中学校 協働	家庭科の授業と連携した食育の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:第2学年全生徒 141人	実施日:2学期、3学期 場所:大宮西中学校 内容:2年生の家庭科の授業の中で、中学生の1日の食事内容について学ぶ中で、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の給食に対する興味関心が高まり、残食減少につながった。		
宮前中学校 協働 —	地元シェフ給食 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校 540人	実施日:10月18日 場所:各教室 内容:地元シェフをおよびして、本格的なフランス料理の給食を実施した。実施にあたり、給食委員会生徒を中心に、フランス料理を調べ学習して、掲示物を作り、地元シェフにお礼の品を手作りした。また、給食委員会生徒と地元シェフで会食を実施(人数制限あり)した。	何気なく食べている給食の内容がフランス料理となり、生徒の料理やフランス文化への興味関心が高まった。シェフが料理の道に進んだことなどを伺うことができた。生徒の職業についての理解が深められた。	地元シェフとの会食では、人数制限をもうけ、応接室での会食となった。教室での会食はできませんでした。	給食委員会を中心として、地元シェフへのインタビューを考えたり、フランス料理について調べ学習を実施した。各自、掲示物を作成し、掲示した。給食委員会活動を通して、地元シェフ給食への理解が深まったと思った。
宮前中学校 協働 —	家庭科の授業における食育の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1学年171人 2学年160人 合計331人	実施日:2学期 場所:家庭科調理室 内容:1学年:野菜が好きになるスープ 2学年:野菜を使ったエコクッキング	中学生に必要な栄養・食事の計画を復習できた。調理実習では、コロナ対策を行い、感染防止に気を配りながら、野菜料理の調理実習が行えた。	調理実習を1、2年で野菜料理について、実施できたが、3学期に予定していた肉料理・魚料理の単元の調理実習は、実施不可となった。	コロナ対策を行いながらの生徒の調理実習だったので、各自使い捨て手袋をして、包丁を使用した。なれない様子だったので、心配したが、落ち着いて調理作業を行い、怪我もなく、9クラス実施できた。
土屋中学校 協働 ○	学校給食週間 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒 480人	実施日:令和4年1月24日～令和4年1月28日 場所:各クラス教室 内容: ・専門委員会主体の動画制作・視聴(調理員へのインタビュー・残菜処理の様子) ・郷土料理・海外の料理・生徒が授業で考えた献立の提供 ・全ての料理を配膳する取組	・残菜率の低下 ・給食週間前と比較し、97%の生徒が以前よりも食べる ことができた。	給食週間が終わった後、残菜率が戻った。	
植竹中学校 協働 —	生活単元「食べ物のひみつを知ろう」 (新規)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:特別支援学級第1～3学年生徒 20人	実施日:3学期 場所:特別支援学級教室 内容:食べ物の3色分類やバランスの良い食事、飲み物に含まれる砂糖の量について学習した。	野菜嫌いな生徒や炭酸飲料を大量に飲んでしまう生徒がいるとの現状を受けて題材を設定した。食べ物の栄養のひみつを知り、多くの生徒が今後はバランス良く食べるようにしたいと答えた。飲み物に含まれる砂糖の量は衝撃的だったようで、ほとんどの生徒が今後飲み物を選ぶ際には気をつけたいと答えた。	後半の飲み物の砂糖の量の印象が強かったと見受けられたため、前半の3色分類の説明をよりわかりやすいものにすることが必要。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和3年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題												
植竹中学校	防災給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:第1・2学年生徒、教職員 670人	実施日:2022年3月11日 場所:各教室 内容:災害用アルファ米を給食室でお湯と混ぜ、カレーの献立の日に白飯の代わりに提供した。事前に献立表にアルファ米についての説明を掲載し、当日は昼の放送で紹介した。備蓄セットに添付されていた災害時のアルファ米の使用方法が書かれた説明書は各クラスに配布した。	3.11の日に防災意識を高めるため、この取組を実施した。アルファ米の存在を知っている生徒や教職員が少なかったため、今回の取組は新鮮なものであった。食感が独特なアルファ米だが、カレーと合わせることで違和感なく食べられた様子だった。	3月は3年生の給食が終了しているため、1・2年生のみの実施となった。給食室の釜の台数に限りがあるため、全学年で実施する場合は他の献立のメニューも考慮する必要がある。来年度は防災の日にも実施できるようにしたい。	
泰平中学校	つぼみの日給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒・教職員 475人	実施日:2021年10月28日 場所:各教室 内容:小中一貫教育つぼみの日に、学区内2校の小学校と共通の献立を実施した。	小中学校で共通の献立を食べることで、新入生を歓迎する気持ちを高めることができた。	配布物や給食時の放送で献立の意図や生徒への思いを伝えたが、より効果的な方法を検討したい。	
泰平中学校	1年生家庭科食事の計画	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1学年生徒 160名	実施日:2021年10月 場所:各教室 内容:中学生の1日に必要な食事内容について学び、給食一食分の献立を作成する。作成した献立の中から、生徒の見本となる献立を給食に取り入れ、提供した。	生徒が作成した献立を実際の給食に取り入れることで、食に対する興味関心が高まった。	掲示物などを活用し、生徒が学習内容を振り返り、深める場面を作りたい。	
大宮北中学校	1年生家庭科栄養バランスの良い1日の献立作り	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1年生 112人	実施日:2学期 場所:教室 内容:小学校で学んできた栄養について振り返り、さらに深く食品や栄養について学習し、中学生の1日に必要な栄養を賄えるような献立作成を実施した。	成長期に必要な栄養について考えることができ、好き嫌いだけでなくバランスを考えた食生活について関心を持つようになった。	意識は持つようになったが、給食を見ると、野菜や海藻などの残食率が高かった。給食と連携をとるなど、より効果的な学習方法を取り入れたい。	
大宮北中学校	生徒会朝礼「かぜをひかない体を食事から作ろう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒 339人	実施日:1月20日 場所:教室(放送及び給食委員による指導) 内容:給食委員会主催の朝礼で、風邪予防のための食材や食生活等を紹介した。また、給食委員が考えた給食献立(栄養職員監修)を発表し2月の給食に取り入れるようにした。	冬が旬の野菜などの食材を知ることができ、風邪やインフルエンザ対策にも役立ることが理解できた。さらに、牛乳や給食週間についても触れ、食べ物や生産に関わる人々への感謝の気持ちを高めた。	給食週間に合わせたの発表なので、より給食についてのアピールをしたい。	
三橋中学校	TTによる食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:中学1年 中学2年 340人	実施日:令和3年9月~令和3年12月 場所:各教室 内容:中学生の食習慣(主に朝食の重要性について)	朝食の重要性について理解した上で、自分の朝食を振り返り、毎日主食、主菜、副菜バランスよくとるためにはどのような生活をしていけば良いのか考えさせる機会を与えることができた。	一部の生徒は朝食を自分で作ったり、前日までに用意したりして、授業内容と実生活と結びつけることができたが、家庭の事情等により変化できていない生徒もいるため、継続して食育により活用し、家庭と連携しながら指導をしていく必要がある。	感想用紙より ・朝ご飯を食べると脳や体に良いことがたくさんあると分かった。パンやご飯だけが食べられない日が多いので、昨日の夕飯の残りや作り置きなどを使ってバランスのよい食習慣を心掛けていきたいと思った。 ・朝起きることが苦手で朝ご飯を食べられていないので、朝ご飯の時間をとることができるよう、早く寝て生活リズムを整えていきたいと思った。

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和3年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題									
三橋中学校	給食週間 食育授業	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 中学2年 170人	実施日: 令和4年1月~2月 場所: 各教室 内容: 家庭科の食生活の授業を通して、命の大切さ、食べ物や食品に関わる人々への感謝の気持ちを育む。	食べ物や食品に関わる人々へ感謝の心を育てるきっかけを作ることができた。給食の残食率も低下させることができた。	特になし	感想用紙より ・当たり前に食べている食べ物にも命があったのだから、感謝をして食べていかなければいけないと思った。 ・動物を殺してしまうのはとてもかわいそうだけど、私たちが生きていくためには命をいただかなければいけないので、好き嫌いをせずにちゃんと食べていこうと思った。 ・料理を作ってくれている人に感謝の気持ちこめて挨拶をしていきたいと思った。	
協働	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三橋中学校	給食週間 ITによる食育授業	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 中学2年 102人	実施日: 令和3年1月~2月 場所: 各教室 内容: クラス担任と道徳の授業を行い、命の大切さ、食べ物や食品に関わる人々への感謝の気持ちを育む。	食べ物や食品に関わる人々へ感謝の心を育てるきっかけを作ることができた。給食の残食率も低下させることができた。	特になし	感想用紙より ・当たり前に食べている食べ物にも命があったのだから、感謝をして食べていかなければいけないと思った。 ・動物を殺してしまうのはとてもかわいそうだけど、私たちが生きていくためには命をいただかなければいけないので、好き嫌いをせずにちゃんと食べていこうと思った。 ・料理を作ってくれている人に感謝の気持ちこめて挨拶をしていきたいと思った。	
協働	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大成中学校	朝食の大切さについて考える。 感謝の会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全校・生徒 職員 428人	実施日: 令和4年2月14日(月) 場所: 各教室(リモートにより実施) 内容: 保健委員会と給食委員会が協働してスライドにまとめて発表。 保健委員会: 朝食についてのアンケートをもとに朝食の必要性について 給食委員会: 自分で作れる朝食について 給食室で給食が作られる様子の動画視聴	朝食の必要性について理解し生徒の意識が高まった。 調理室での給食を作る様子の動画を視聴したことで、調理員さんへの感謝の思いと完全を目指す気持ちが強くなった。	保健委員会と給食委員会の生徒を中心とした活動で一部の生徒たちの負担が大きかった。体験的な活動を取り入れ、1人ひとりの意識と行動に結びつく実践力を培ってほしい。	・保健委員会: アンケートを実施して集計し食生活の課題を把握した。 ・校医さんにも現状を報告し客観的なアドバイスを受けることができた。 ・給食委員会: 自分で作れる朝食を考えた。クイズ形式で朝食の組み合わせを考えた。	
協働	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第二東中学校	おはなし給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全校生徒・職員 590人	実施日: 令和3年12月14日(火)・15日(水)・16日(木) 場所: 第二東中学校 内容: 図書室に置いてある本に出てくる料理を再現する。 ①手作りキッシュ・トマトスープ(『西の魔女が死んだ』) ②手作りツナカレー・コロッケ(『こまったさんのコロッケ』) ③手作りバナナケーキ(『とにもかくにもごはん』)	実際に借りることのできる本や、子どもがよく知っている本の料理を再現することで、その本だけでなく料理や使っている食材に興味を持つ生徒が増えた。	おはなし給食という意識がほとんどない生徒も見られたため、給食日より当日の昼の放送だけでなく、掲示板などを使った宣伝もしていきたい。		
協働	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第二東中学校	給食委員が考えた献立	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全校生徒・職員 590人	実施日: 令和3年10月19日(火)・20日(水)・26日(火) 11月2日(火)・11月4日(木) 場所: 第二東中学校 内容: 給食委員の3年生にクラスごとに献立を考えてもらい、実際に給食で提供した。献立作成の前に、過去の家庭科の授業で実施した、献立作成の注意点を確認した。	旬の食材やみんなが喜びそうなメニューなど、それぞれがテーマをもって献立作成を行っていた。一生懸命考えてくれたからできるだけ残さず食べようという姿勢が見られたクラスもあった。	テーマをもって同じ食材をすべての料理に入れていたところもあったため、献立作成の注意点を説明を見直す必要がある。		
協働	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大宮国際中等教育学校	食育授業	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 中学1年生 159人	実施日: 令和4年3月15日(火)見込 場所: 大宮国際中等教育学校 内容: 給食について(栄養管理・衛生管理・調理等、使用食材について)の動画視聴後、身の回りの食事がどのように我々の手元に届いているのかをリサーチする	実施予定のため未記入	実施予定のため未記入		
協働	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容							
大宮国際中等教育学校	食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 中学2年生 160人	実施日: 令和4年2月1日(火) 場所: 大宮国際中等教育学校 内容: 食育に関するデータを示し、使用食材や栄養管理について学び、その後話し合い活動を行った。	日々の給食がどれだけ考えられて作られているかを知り、感謝の気持ちを持つようになった。	委員会とコラボをいかにするかが継続のカギであろう。	食育に関するデータをクイズ形式で提示、理解を深めていった。
七里中学校	1年総合学習「食と健康」について考える	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 1年生 78人	実施日: 6月、1月 場所: 七里中学校 内容: 6月…食に関わるクイズを通して色々な情報について理解を深める。 1月…学んだ事に対する疑問や課題解決のための情報収集へアドバイス	それぞれの課題解決を模索し、各自パワーポイントを作成できた。	学習したが、給食の残が多いことに変化がない。	
七里中学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 図書委員、給食委員 26人	実施日: 1月 場所: 七里中学校 内容: 図書委員が本よりメニューを取り出し、その中から旧職員が選んだメニューを、給食で実施した。	生徒の好きなものが選ばれたので、よく食べていた。楽しめた様子。また実施してほしいとの意見があった。	生徒の活動が少ない。もっと生徒が活動できるといい。	
春野中学校	絵本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 全校生徒 600人	実施日: 令和4年2月 場所: 春野中学校 内容: 生徒の給食委員会、図書委員会、放送委員会がコラボ企画をし、実施した。学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。また、放送委員が、給食時に英語読み聞かせ&日本語読み聞かせを行った。 メニュー『こまったさんのハンバーグ』より、ハンバーグメニュー『はらぺこあおむし』より、チョコレートケーキメニュー『おばけのてんぷら』より、カボチャとサツマイモの天ぷら	本校生徒が興味関心のある絵本を活用して、給食の時間に放送委員会の生徒が読み聞かせを行った。普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。生徒も懐かしんで食べることができ、食への興味関心が高まった。	より国際色豊かに、多くの絵本から、献立を作成し、来年度へも繋げていきたい。	給食委員はレシピや絵本のお話の掲示物の作成、図書委員は英語と日本語の読み聞かせ、放送委員は献立の紹介をしながら曲を流した。
春野中学校	食育新聞(郷土料理調べ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 全校生徒 600人	実施日: 1月 場所: 春野中学校 内容: 日本各地の郷土料理を給食で提供するため、調べ学習を行った。新聞を作成し、生徒昇降口に掲示し、その県の食文化の紹介や料理の説明をした。	各地の郷土料理を味だけでなく、写真やイラストを取り入れることで、視覚的に伝えることができた。	生徒が調べたことに対して、いかにアレンジして給食を提供することができるか検討が必要である。	
与野東中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 46人	実施日: 令和4年1月 場所: 視聴覚ホール 内容: 給食や中学生の食事についての講話と給食の試食	学校給食への理解を深めていただくこと、生徒の様子を知っていただくことができた。	コロナ禍で、参加人数に制限があるため、希望者が全員参加できなかった。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題			
与野東中学校 協働—	授業における食育の推進 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象:特別支援 学級 特別支援学級2人	実施日:令和3年9月 場所:教室 内容:丈夫な骨をつくろう	カルシウムの多く含まれる食品を知り、丈夫な骨をつくるためには何が必要か考えた。また、成長期や中学生の時期は体内の骨量を増やしていくために大切な時期であることを知った。	授業で考えた内容を生活習慣として定着させることが課題である。	
与野東中学校 協働—	授業における食育の推進 (新規)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象:1年生 38名	実施日:令和4年3月 場所:教室 内容:私が考える食品ロス大作戦	食品ロスについて考えるきっかけになる機会となった。普段の生活の中で食品ロスを減らすために自分ができる工夫を考え、実践した。	授業で考えた内容を生活習慣として定着させることが課題である。	
与野東中学校 協働—	SDGsプロジェクト (新規)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象:給食委員会(全校)	実施日:令和3年2学期 場所:中庭 内容:食に関わるSDGsの具体的な取り組みとして、給食室から出される野菜くずの一部を活用したコンポストを設置した。	活動を通して生徒が自分たちの食事に目を向け、持続可能な社会づくりに参加しようとする有意義な機会になった。	取組の継続	
与野西中学校 協働	食育講演会 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象:全校生徒 580人	実施日:2022年5月9日(月) 場所:与野西中学校 内容:元JOCオリンピック強化スタッフ、管栄養士の川端 理香氏によるオンラインの講義で、スポーツと食事、水分補給について学んだ。	市総合大会や、体育祭に向けて各自が食事や水分補給を気を付けて本番に取り組みむきかけとなった。	コロナ禍のため、生徒は分散し、オンラインにて講義を受けた。来年度も安全を考慮して開催していきたい。	
大久保中学校 協働—	オリンピック・パラリンピック給食 (新規)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 ○	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象: 400人	実施日:令和3年4月～9月、令和4年2月 場所:大久保中学校 内容:①夏季オリンピック ②冬季オリンピックの開催にちなんだ世界の料理の提供	気候や風土、暮らしの様子もその国の料理に関係していることを、給食を通じて伝えることができた。	食べ慣れない味に抵抗のある生徒も見受けられた。色々な料理に触れ、体験してほしいと思う。	①夏季オリンピック(4月:ギリシャ、5月:アメリカ・韓国・ロシア、6月:ブラジル・エジプト、7月:タイ、9月:フランス) ②冬季オリンピック(北京) ・給食提供当日には、給食委員会による校内放送を行った。
大久保中学校 協働—	図書コラボ給食 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 ○	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0-5歳 —	学齢期 6-15歳 ○	青年期 16-24歳 —	成人期 25-39歳 —	壮年期 40-64歳 —	高齢期 65歳+ —	対象: 400人	実施日:令和4年1月26日・27日 場所:大久保中学校 内容:生徒アンケートより、選出した絵本の中の料理の提供	生徒が主体となり、給食の時間をより楽しいものにすることができた。喫食率もよく、生徒の日記に給食のことが記載されているなど、生徒からの反応も良かった。	絵本や料理本に掲載されている料理は大量調理用ではないため、給食では実施できないものもある。生徒の希望に沿うよう、調理技術やアイデアを身に着け、給食室としてできることはしていきたい。	◎図書委員会・給食委員会のコラボ企画。 ・2学期の秋の読書週間の際に、生徒へ「絵本に出てくる料理」で食べてみたいもののアンケートを実施 ・①「給食番長」より「給食番長のカレーライス」②「ぐりとぐら」より、「カステラ風ケーキ」を選出。 ・給食提供当日には、朝自習の時間に図書委員会の読み聞かせ動画視聴、昼に給食委員会による校内放送を行った。

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
常盤中学校	家庭科 食育授業 (TT授業)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 中学1年生	実施日: 2022年 11月、12月、3月 場所: 常盤中学校 内容: 1年生の家庭科の授業の中で中学生の一日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から、栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えながら給食献立に反映させることが必要である。	
協働 —	(新規)	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	—					
常盤中学校	給食週間 食育授業 (TT授業)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 中学2年生	実施日: 2022年 2月 場所: 常盤中学校 内容: 給食室ができるまでの様子を写真に撮って生徒に紹介し、食事への感謝や食品ロスについて、給食の栄養バランスについて考える機会とする。	食を大切にすることや、感謝の心を育てるきっかけとなった	継続して意識付けしていくことが課題である。	
協働 —	(新規)	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—					
木崎中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 木崎中学校 全校生徒 792人	実施日: 2022年1月22日(金)～2月28日(月) 場所: さいたま市立木崎中学校 内容: 給食委員会を中心に調理員さんへの感謝の色紙の作成	生徒全員で取り組むことにより、一人ひとりが食事ができることへの感謝の気持ちを持つことが出来た。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのオンライン授業希望者が多く、色紙の作成に時間がかかることが予想されたため、期間を長めにとり、取り組んだが、登校しない生徒が多いため作成が大変であった。	
協働										○														
浦和中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 第1学年 全校生徒 80人	実施日: 2021年7月・9月 場所: 浦和中学校 内容: 1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えながら給食献立に反映させることが必要である。	
協働	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	—					
岸中学校	世界味めぐり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: 毎月1回 今年度は給食週間に特集を取り入れた。 場所: 学校 内容: 世界各地の料理を給食に提供する。屋のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその国の食文化や料理の紹介をする。	各国の文化について興味を持つようになり、毎月実施する日を楽しみにするようになった。世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	食べ慣れない味や、香辛料の臭いが苦手な生徒もいる。国によって残食が多いことがあるため工夫したい。	
協働	(継続)				○								○	○										
岸中学校	日本味めぐり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳～	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: 毎月1回 場所: 学校 内容: 日本各地の郷土料理を給食に提供する。屋のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその県の食文化や料理の説明をする。	各地の文化に興味を持つようになり、毎月実施する日を楽しみにするようになった。郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	手に入りにくい食材や、作業的に無理な料理がある。なるべく工夫して近い味にした。	
協働	(継続)				○								○	○										

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
岸中学校	給食委員会によるコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: ①11月4日(水)②12月17日(金) 場所: 学校 内容: ①図書委員が選んで考えた本の中の料理を、給食で再現し、各クラスで読み聞かせをした。給食委員は「ハリーポッター」からイギリス料理の食文化を紹介した。②給食委員が総合的な学習で学んだSDGsの取り組みの中からエコ給食の提案(残食やゴミを減らす。食品ロスなどの工夫)をした。	①本に登場する料理を食べる関心が高まり、食と読書への利用率も高くなった。 ②エコ給食を実施することによりSDGsは身近なことから取り組めることに気づかせることができた。	生徒主体的で行うため、内容の検討に時間がかかり、給食の発注に間に合わない。次回は計画的に取り組みたい。	エコ給食(カップごと食べられるグラタン、おから入りミートソース) 
内谷中学校	2年生:保健体育生活習慣病とその予防 2-3年生:総合的学習の時間で「食育」とSDGsを扱う	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 2年生 315人 1回(保健体育) 2年生 315人 1回(総合) 335人 3回(総合)	2年生:1月 総合的学習の時間 食と17の目標SDGsが大きく関わることを知る 3年生:総合的学習の時間で「食育」を扱い、和食文化や世界の状況を知り、食品ロスやSDGsへの関心を高める 2年生 生活習慣病については資料の提供をおこなった。	・授業を行ったことでSDGsへの関心意欲が高まり2、3年生は「SDGs」という言葉を100%知ることができた(40%ほどしか認知度がなかった) あわせて食が環境や文化、そして世界と繋がっていることが理解できた。	コロナの影響もあり、欠食生徒が多数あり、残量の評価が難しくなった。SDGsは実際の生活や食に繋がって行くことを深く理解させていくことが課題となっている。	月刊「学校給食」の10月号にて取組を報告している
内谷中学校	防災用備蓄品を使った給食 地元シェフ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	全校:防災給食 地元シェフ給食 (自治会等地域の方々)	全校で防災備蓄倉庫品の米を使った給食をおこなう。また、地元シェフを迎えてのフランス料理給食を実施。	PTAの広報担当者にも取り上げていただき、給食や食への関心が地域で高まった。 食事を作ってくださる人に感謝をすることが出来る	防災給食は継続していきたいと考えている。(防災課との協力や連携システム化を望みます)	
美園中学校	読書献立	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校 365人	実施日:2021年11月、12月 場所:美園中学校 内容:図書委員が推薦する本に登場する料理を給食で再現。あらすじと料理が出てくるシーン、料理のイラスト等を書いたおすすすめポスターを作成した。 「ふたふたのお医者さん」より『ガーリックトースト』 「東京すみっこごはん」より『肉じゃが』 「ランチのアッコちゃん」より『ポトフ』 「おまかせ満腹ごはん」より『ごめんね包みのカレー春巻』	・生徒の給食への関心を高めることができた。 ・給食の内容を充実させることができた。	・放送委員会や給食委員会とも連携した取り組みを行えば、もう少し盛り上がったといえる。	
美園中学校	1年生家庭科栄養バランスの献立作成と優秀献立の給食での実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1年生 118人	実施日:授業実施は1学期。献立実施は2学期。 場所:家庭科室 内容:小学校で学んできた栄養について振り返り、さらに深く食品や栄養について学習し、中学生の1日に必要な栄養を揃えるような献立作成を班ごとに行い、工夫点などを班ごとに発表させた。優秀な献立は給食の献立として実際に採用することで生徒のモチベーションを上げることがつながった。	成長期に必要な栄養について考えることができ、好き嫌いだけでなくバランスを考えた食生活について関心を持つようになった。	生徒の立てた献立は、価格面まで考慮ができなかったため、実施した献立は価格が高くてしまった。	
三室中学校	栄養士の働き	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1学年生徒 294人	実施日:3学期 場所:教室 内容:中学生に必要な栄養、心と体の成長にとって栄養素がそれぞれどのような働きをするかということ学んだ。また、それらを考えて給食が作られているということも示した。	「好き」「嫌い」ではなく、成長に必要な栄養を摂るという視点を持って給食を食べるようになった。それに伴い、残食が減った。	学習した直後は意識して食べているが、時間が経つと気にしなくなる生徒も出てくるため、授業以外でも定期的な定時が必要である。	

さいたま市の食育取組状況 令和3年度実績及び令和4年度予定

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和3年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
三室中学校	食事の役割 と食習慣	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1学年生徒 294人	実施日:3学期 場所:教室 内容:3食バランスよく食べることの重要性を学習した。特に朝食が必要なのはなぜか、を生徒自身が考え発表を行った。	朝食を摂ることが大切であるという認識が広まり、積極的に食事を摂ろうという意識が高まった。	一部の生徒が朝食を摂らずに登校しているため、家庭の事情などを考慮し、個別に対応していく必要がある。	
協働	(新規)	○	○	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—					
さくら草特別 支援学校	食育の日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:児童生徒38人、教職員、保護者 実施回数:毎月1回	実施日:毎月19日前後 場所:学校 内容:世界の料理を給食の献立に取り入れ、紹介する。実施後には、当日の給食の写真を世界地図の周りに掲示し、食べた給食がどこの国の料理なのかをわかるようにした。	様々な国の料理を体験することで、味覚の幅を広げることができた。	食育だよりやレシビカードで家庭へ情報提供した。家庭でも調理をして家族で楽しめるように、興味をもってもらえるような、レシピの提供方法や周知の方法を工夫していきたい。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	○	—					
岩槻中学校	食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1学年生徒、特別支援学級生徒 170人	実施日:2021年11月 場所:岩槻中学校 内容:家庭科「給食の献立を立てよう」、特別活動「自分の食生活を見直そう」について、栄養教諭とTTで授業を実施した。	身近な給食を教材に、バランスの良い食事を学び、自分の健康について振り返り、改善しようとする姿勢がみられた。	1学年だけでなく、2、3学年についても栄養教諭がかかわる授業を実施したい。	
協働	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
岩槻中学校	地元シェフによる学校給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校 560人	実施日:2022年1月17日(月) 場所:岩槻中学校 内容:パレスホテル大宮のフランス料理シェフを迎えて「シェフ給食」を実施	生徒にプロの味を体験させることで、食への関心を高めるとともに、地場産物を活用したことにより、大切にしている心や、感謝の心を育てるきっかけとなった。また給食委員の活動として掲示物作成や、朝礼を実施し、食に関する知識を深めることができた。	シェフのアイデアを学校給食で実施可能なものに献立調整すること。フランス料理やシェフ給食に関する調べ学習を給食委員を中心に行いたい。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—					
川通中学校	調理員さんへの感謝の会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校 233人	実施日:2022年1月24日～28日・2月4日 場所:川通中学校 内容:健康委員を中心に調理員さんへの感謝の手紙の作成	食を大切にしている心や、感謝の心を育てるきっかけとなった。	給食室での調理員の仕事の様子をもっと詳しく生徒に伝えてから、手紙を書くようにできるとよいかと思う。	
協働	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
城南中学校	給食委員会の取組	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒、教員 260人	実施日:通年 場所:各教室 内容: ①給食当番点検表の記入と提出の徹底(手洗いや身だしなみの徹底と、だれが配膳したのかを確実に把握できるようにした。) ②牛乳パック当番表の導入(当番忘れを防ぎ、牛乳パックのリサイクルを確実に進められるようにした。)	生徒の衛生面に対する意識を高めることができた。	課題意識の維持、取組の継続	・委員会でも声掛けを継続し、給食当番点検表の確実な記入ができていた。 ・給食委員同士でも牛乳パック当番の声掛けをし合う姿が見られた。
協働	(新規)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					

食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」

さ 「三食しっかり」食べる

い 「いっしょに楽しく」食べる

た 「確かな目をもって」食べる

ま 「まごころに感謝して」食べる

し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる



さいたま市食育ナビ <http://www.saitamacity-shokuiku.jp/>

食育の基礎知識、食の安全・食中毒、地産地消、学校や保育園の給食レシピ、市の施策・事業など、食育に役立つ情報を発信しています。

発行：令和4年8月
さいたま市

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4
TEL:048-829-1294 FAX:048-829-1967

この冊子は285部作成し、1部あたりの作成費用は、171円（概算）です。